

第三〇輯・第八號・昭和二十四年八月

建築（社會）

8

日本建築協會
THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

京 都 著 名 綜 合 請 負 業 者 (五十音順)

土木建築設計施工



三 協 土 建 株式會社

社長 草木 成一

本社 京都市左京區吉田下阿達町四十五番地
電話上③6115番
大阪營業所 大阪市西區土佐堀通三丁目一九

合名會社 **辰 己 建 設**

代表社員 辰 己 松 五 郎

京都市下京區西洞院通木津屋橋上ル
東塩小路町六〇七番地

電話下⑥ 182 番
2641 番
4675 番

土木建築綜合請負業 資本金 壹百四拾萬圓



株式會社 **城 南 組**

取締役社長 大西 與三吉

本社 京都市中京區船場通大宮西入上ル
電話壬生④1403・1404・2121
木工部 京都市中京區六角通神泉苑町西入
電話壬生④1054
支店 大阪市西區立賣堀南通四丁目一番地
電話北323
出張所 大津市後在家町二番地 電話大津04



株式會社 **中 野 組**

取締役社長 中野 正次郎

本店 京都市中京區西ノ京職司町68
電話壬生2274・2275番
工作所 京都市右京區太秦下刑部町8
電話嵯峨114番
支店出張所 名古屋・舞鶴・大阪

株式會社 **末 松 工 務 店**

代表社員 末 松 佐 一 郎

京都市中京區壬生柳之宮町二〇番地
電話壬生(84) 2850 番
1876 番
3625 番

株式會社 **林 太 作**

取締役社長 林 太 作

本社 京都市下京區綾小路通新町西入矢田町125
電話下⑤5098・6680・6689番
支店 大阪市東區北浜一丁目二八番地
電話福島4067番

株式會社 **大 朝 組**

鈴木 覺 次 郎

本社 京都市下京區大宮通七條上ル
電話下⑥4003番
事務所 京都市下京區朱雀寶藏町
工場 電話下⑥3031番

水 野 建 設 株 式 會 社

取締役社長 水 野 喜 一 郎

本店 京都市下京區御前通七條上ル
電話下⑥8277・8052番
大阪支店 大阪市北區太融寺町120番地
電話堀川2816・2107番

土木建築工事請負

株式會社 **大 華 工 業**

取締役社長 木 下 清 司

本社 京都市下京區西七條御領町四九
電話下⑥991・4991番
出張所 大阪市北區葉村町七八ノ一

土木建築工事請負

合名會社 **木 下 組**

代表社員 木 下 政 次

本社 京都市下京區西七條市部町一八
電話下⑥4409番
工作所 京都市下京區花屋町通西大路西入
電話下⑥7887番



9 頁 参 照

建 築 と 社 會

8

1949・8

時の言葉 古美術保存と建築文化.....	2
新建築紹介	
祇園會館.....	3
京都女子大學.....	5
立命館大學文學部校舎.....	6
床 間.....	7
某 氏 邸.....	8
京都市建物の現状.....	12
京都府における観光施設整備計畫.....	13
日本平和郷寶池公園の建設に就いて.....	15
観光京都の古建築案内.....	17

桂離宮.....	19
重量物移轉工法の一考案.....	23
京都格致小學校建築工事説明書.....	28
性病と建築.....	29
聲 電氣管工建材業者.....	30
役所からの要望.....	31
綜合請負業者よりの苦言.....	32
管工事無駄話.....	33
京都建築クラブの發足.....	34
建築積算便覧.....	35
會務.....	39

時の言葉

古美術保存と建築文化

法隆寺金堂の炎上は、國民の心に大きな衝撃を與えた。當時、新聞紙は、火災の状況、原因或はこれに派生して起つた事件、政府の處置、今後の對策などについて大きな紙面を割いた。しかし、これらのことについて明快な説明がされないままに數ヶ月経つた今日、はや法隆寺炎上のことは國民の腦裡から次第に薄れようとしている。建築に少しでも關係のある者は、取返ししのつかないことをしたという悔恨の氣持と、程度と考え方の差こそあれこの時代に法隆寺を火にかけ、壁画の大半を壊滅させてしまつたことに對する自責の念を、誰もがひとしく感じているとおもう。たとえ火災の直接の原因が明かにされて、政府當局の直接責任者が處罰されても、それで決して法隆寺炎上の問題は解決されたのではない。廣くいえば結局その責任は、國民のすべてが負うべきものであらう。何故ならば法隆寺のような世界的古美術品は、日本國民の一人々々が心して保存をはからねばならないものであるからである。ところが、今日まで國民の果してどれだけの人が、法隆寺の美的價值について、或は數年前から行われている修復事業について關心を持つていたであらうか。おそらく、それは少數の人達に限られていたと思う。ここに問題がある。法隆寺が世界最古の木造建築といわれ、世界に誇るべき壁画を持ちながら、これを補修し維持する費用が極めて少額しか認められていなかったということは何を物語るのか。國民のすべてが負うべき責任というたのはこのことである。

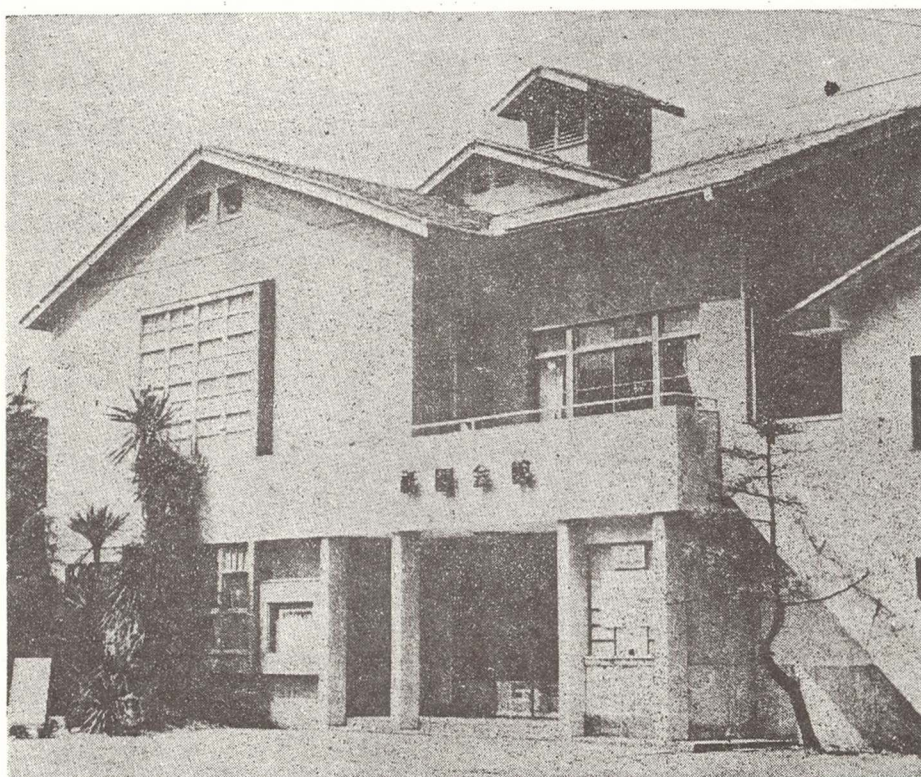
しかし、現代の日本人の美術文化に對する認識水準は、歐米の人達のそれに較べれば遙に低いものであらう。その意味からいつて建築に直接關係のある者（勿論このことは、建築關係者だけに限られるべきものではないけれども。）が今日までに果して一般國民に對して法隆寺の美術文化的價值の重要性についてどれだけ啓蒙的努力をしたかを反省せねばならないと思う。法隆寺のような國寶的美術品は一部の人達の研究觀賞の對象としてとどまることなく、國民一般の人達にも親しみやすくわかりやすいものとなり、國民すべてが心から日本にこのように優れた美術品を持つことの出來た喜びを頌ちあうようになってこそほんとうに國寶といえるのであらう。

美術品に對する國民の聲が一の世論となつて來れば、これ等の維持補修に要する費用についても國家として思い切つた措置が出來るであらう。

戰爭を棄てた日本が今後世界に伍して生存して行くには、國民としての目標がなければならぬ。その一つは新しい日本文化の建設である。新しい日本文化を建設するには、先づ今日までに吾々の先輩が遺したものに對して深い認識を持ちこれを探究することが第一である。新しい日本文化は過去の日本文化が徹底的に見極められたとに築かれねばならない。建築に携わる者は今こそ勇奮すべきである。

祇園會館 (改 築)

所 在
京 都 市 祇 園 石 段 下
設 計
白 石 博 三、福 田 朝 生
施 工
武 内 工 務 店



外 観

設計者の言葉

この建物はもと祇園乙部藝妓組合の事務所として、中西六郎氏の設計、ミラノ工務店の施工で建築された。敗戦後占領軍のダンスホールになつて居たが、今般返還されたので、改築して階上に温習會場、階下に喫茶室を設けた。

温習會場は貸會場にもなる。施主の要求で純和風、造

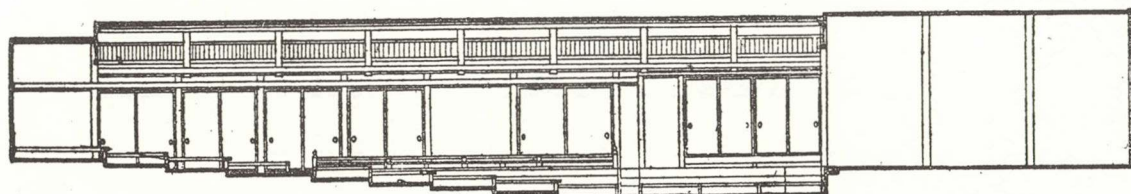
作備州檜一式。寫眞左方の切妻の見えるところがこの會場である。

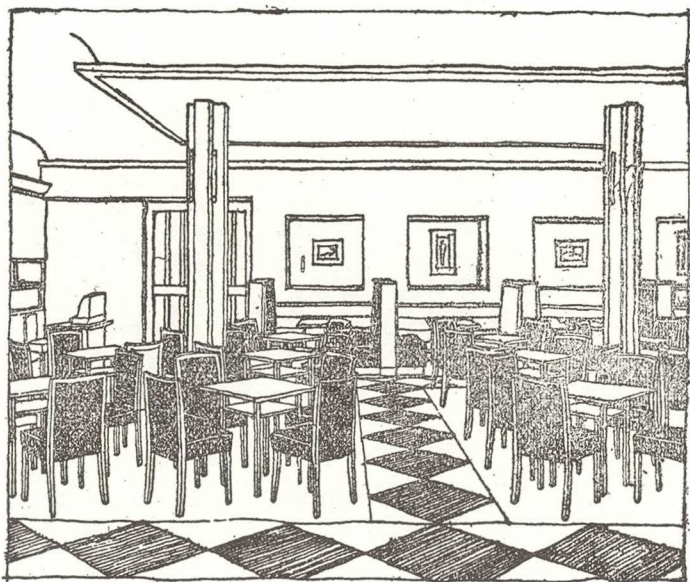
喫茶室は全間接照明を使つた。植込のある處に温習會場とは別な入口がある。

外觀も若干改めた。施工されたものは原設計とは若干相違した。

温 習 會 場 断 面

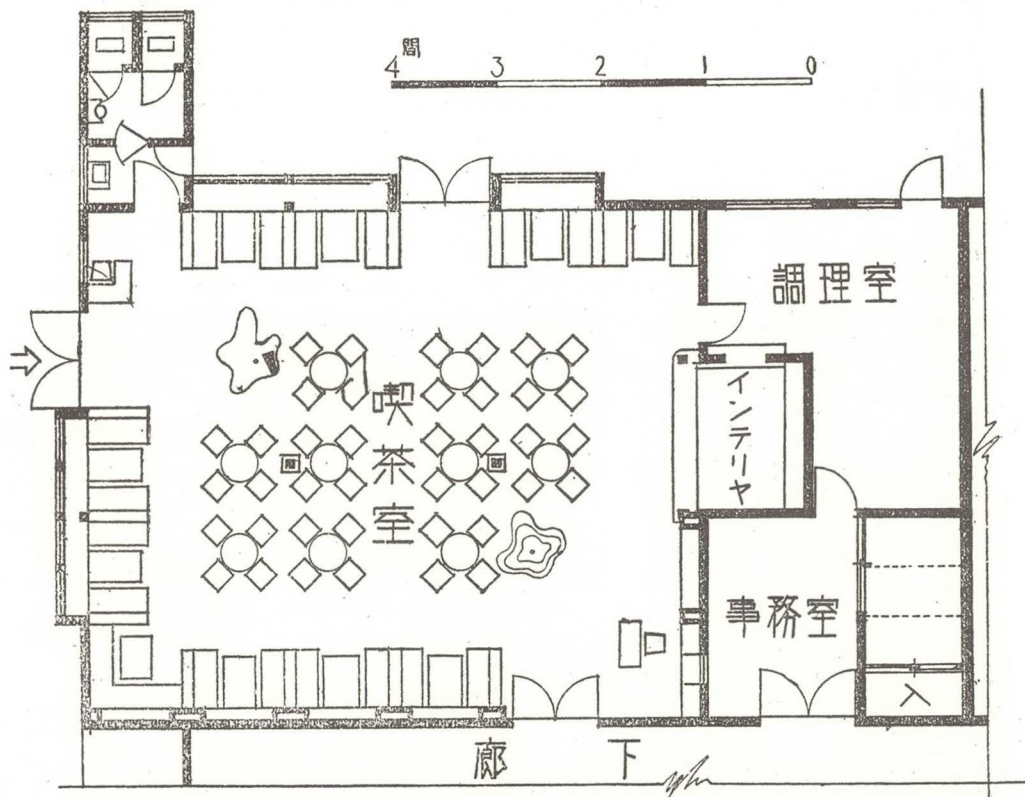
4 3 2 1 0





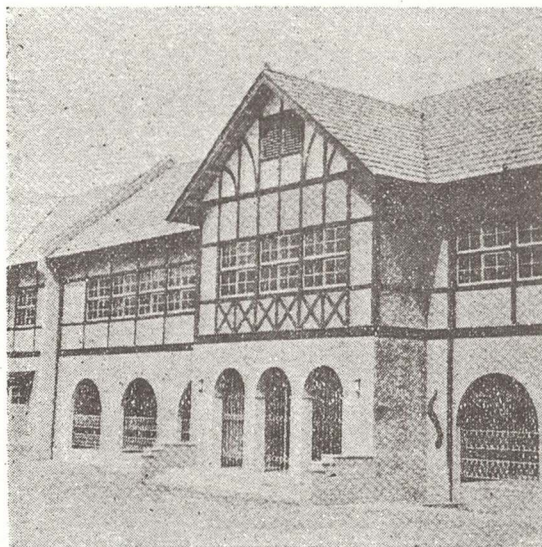
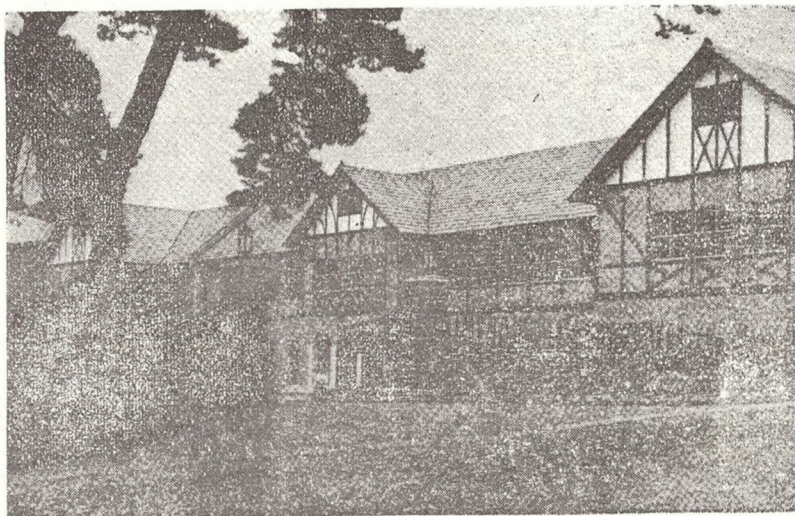
喫茶室北面

平面圖



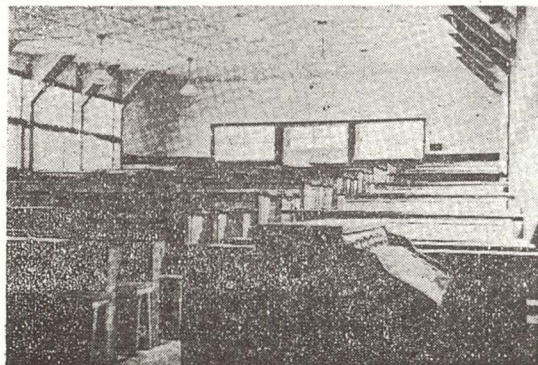
京都女子大學

名稱 財團法人 龍谷女子學園
京都女子大學校舍
場所 京都市今熊野太閤垣
設計、施工
竹中工務店京都營業所



正面玄関

階段教室



敷地面積 1557坪21
建築面積 1階 266坪785
2階 266坪785

床 ホール 廊下一部コンクリート打、人造研出シ
及モルタル塗教室、フローリング貼

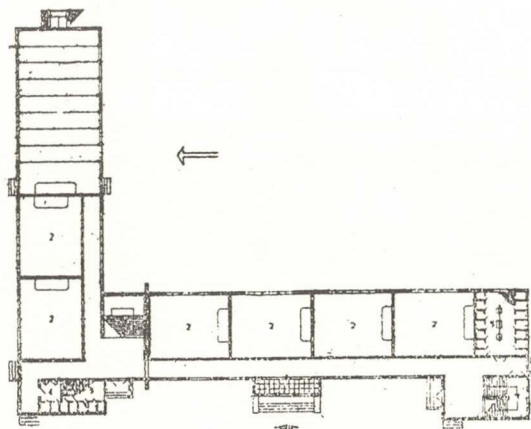
壁 木造軸組

1階外部 大壁スタツコ仕上

2階外部 ハーフティンバー、スタツコ仕上

玄關廻り、人造石研出シ、目地切仕上

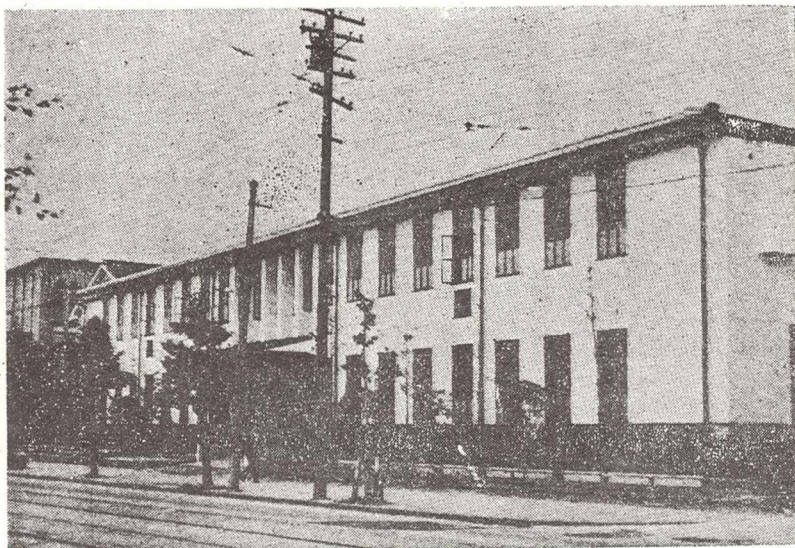
屋根 小屋木造トフス、赤色セメント瓦葺、勾配八寸



1階平面圖

- 1、ホー ル
- 2、教 室
- 3、階段教室

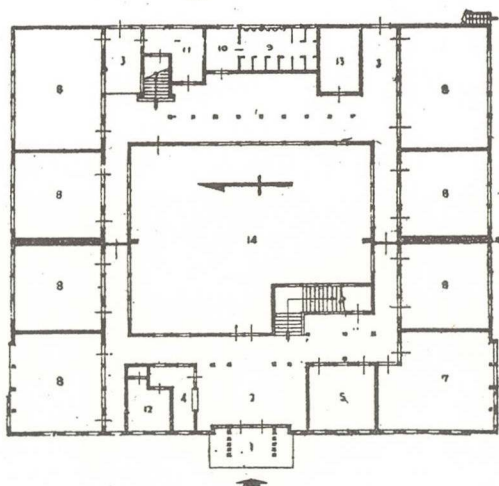
- 4、教師用便所
- 5、生徒用便所
- 6、宿直室
- 7、物 置



立命館大學文學部校舎

場 所 京都市上京區河原町廣小路下ル東側
 設 計 内 藤 建 築 事 務 所
 施 工 株 式 會 社 竹 中 工 務 店 京 都 商 業 所
 敷地面積 775坪00
 建築面積 1階 302坪23
 2階 280坪22

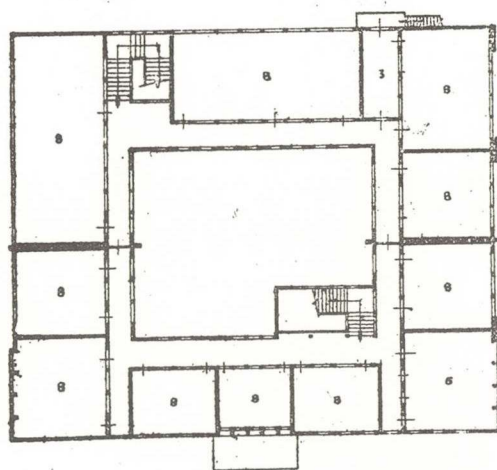
床 ホール、コンクリート打、人造石研出し、目地切
 仕上、教室、フローリング貼
 壁 腰板貼リベンキ塗、壁漆喰仕上、軒下部モザイク
 タイル貼
 屋根 小屋木造トラス、赤色セメント瓦葺、勾配四寸



一階平面圖

- 1、ホーチ
- 2、ホール
- 3、小ホール
- 4、受付
- 5、事務室

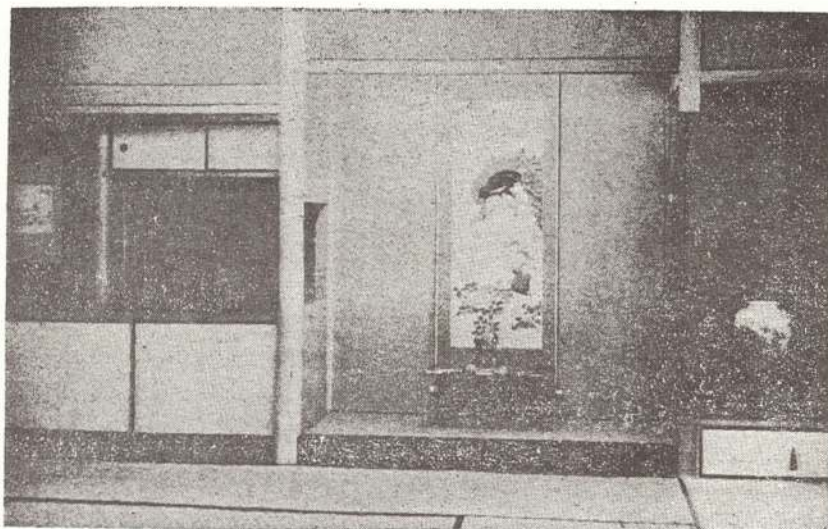
- 6、教授室
- 7、學生控室
- 8、教室
- 9、便所
- 10、洗面所



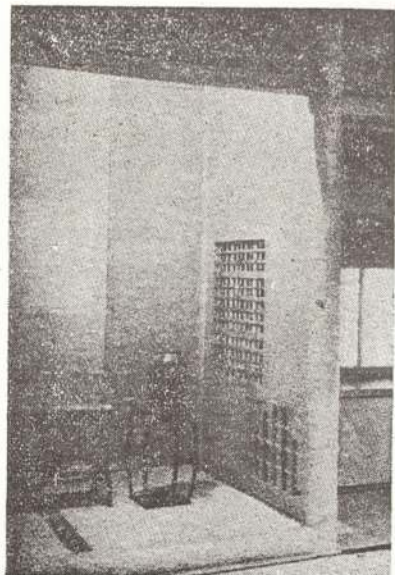
二階平面圖

- 11、小使室
- 12、宿直室
- 13、倉庫
- 14、中庭

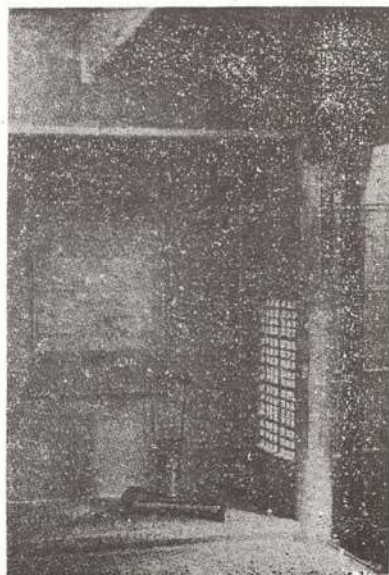
床 間

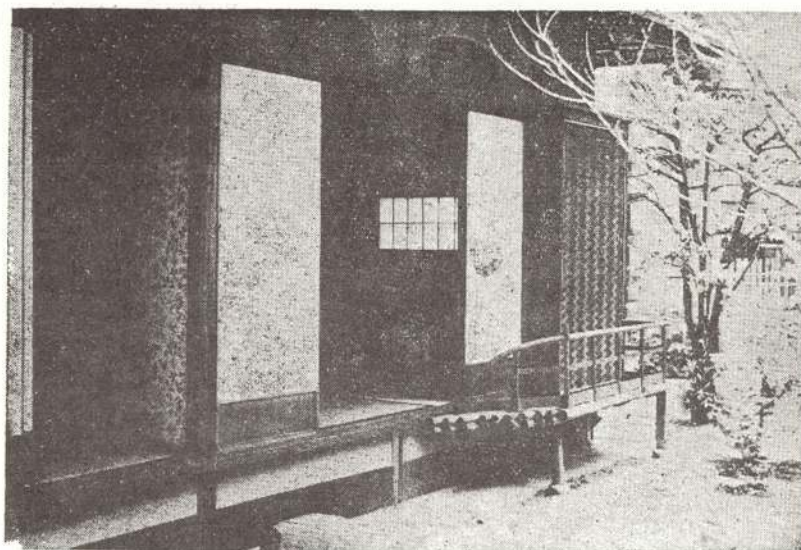


所 在 京都市祇園丸山公園内
設計施工 武内工務店
施 主 名 井 得 三 氏



もと「芋蓀」(一休庵)の
建物であつたのを個人住宅
に大改造したもの。殆ど面
目を改めた感がある。
上圖は平面圖右上の10上疊
の床棚、下左圖は平面圖の
下左の10疊のもの、下右圖
は茶席の床である。





茶室を南西より見る

某氏邸

設計 白石 博三
施工 公成 社

設計者の言葉

久し振りで数寄屋の仕事をした。

敷地は東西28間、南北10間で、東は電車道、南は高い塀の生垣をへだてて、以前は施主の住宅であつたチュードルゴシックの廣荘な邸宅に隣る。目下その建物が占領軍に接收されて居るので、これが建つことになつたのである。北と西は高い土塀をへだてて既存の隣家がある。

敷地が細長い上、その中に土蔵が3棟既存する。それとの関係やら坪数の制限やらで平面計畫が制約された。また次頁平面圖の浴室以西の分は、慶應元年の棟札のある建物の移築が主体になつて居るから、その點も制約がある。尙將來は東西兩方に増築する設計を行つたから、現在では平面、立面共に不満足な點がある。庭園も設計はしてあるが未着手で樹木は仮植である。

様式は大体和風であるが、自由な手法で且所謂凝つた意匠にならぬ様に努めた。屋根は大佛片面磨、造作主として赤杉と赤松。軒猿煩極、大板流貼。壁内外共殆ど聚

樂。北側外壁は黄大津である。東半分は新築で坪数制限があるが、狭い面を廣く使ふ工夫をした。

玄関の土間と廣間は、それ自体は眞々で間口6.35尺、奥行5.15尺であるが、その外に奥行1.4尺の下駄箱及び出窓をつけた。

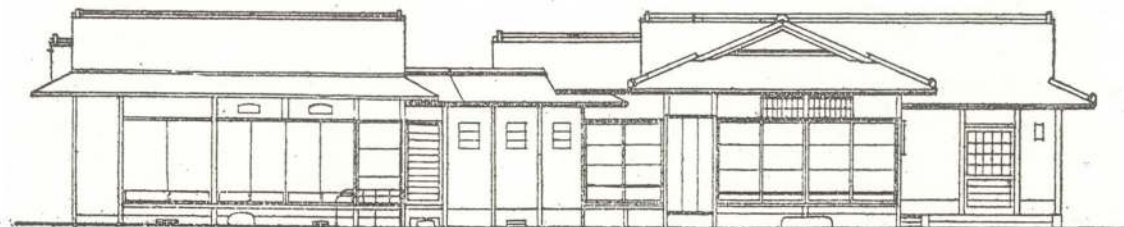
廊下はわざと廣く3.85尺としたが効果があつた。中廊下の北の諸室の奥行は、これ等諸室に共通な都合の良い寸法として3.35尺とした。

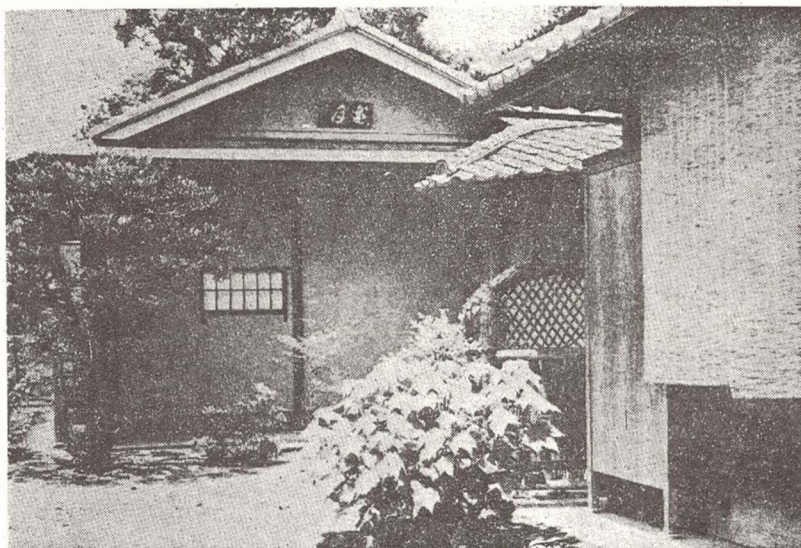
西半分は上述の通り敷地内に既存した建物の移築が主体であるが、一度解体した上で隨處に改造を施した。

茶室の部分は良材が使つてあり、由緒もあるので、なるべく保存したが、東半分との連絡の都合や調和の問題もあり、かなりの改造を要し屋根の形や廊下等以前と全く變つた部分も多い。

照明器具等細部に至る迄設計したが、施主が理解があるので氣持のよい仕事が出来た。

南面圖





茶室を東より見る。

正面の小窓は単調を破る爲につけた。茶室の軒先は桮北山小丸太1本銅板葺。尙本誌第1頁の寫眞も同じ場所である。

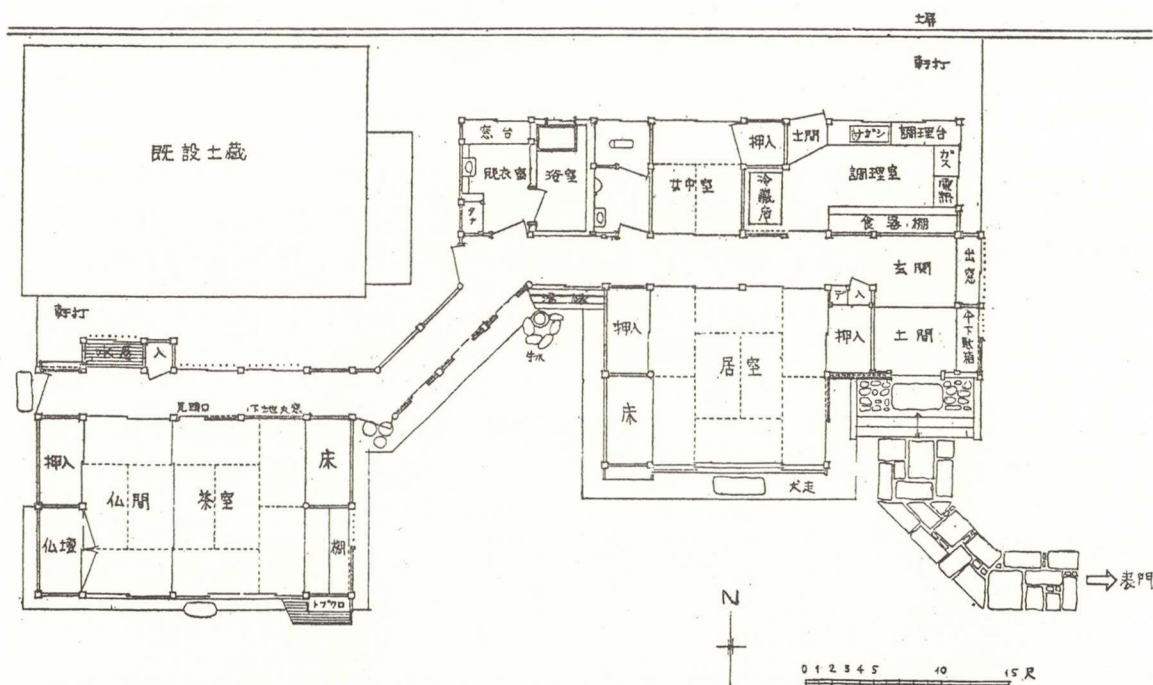
居室は目下は食事室も兼ねて居る。東側の押入の中に喰ひ込んで廊下から使ふ掃除具入と電話器棚を取つた。北側廊下との取り合はせ、東2枚は蠟色鴛鳥ノ子貼の模で、西2枚は腰壁をつけ、障子を建てた。

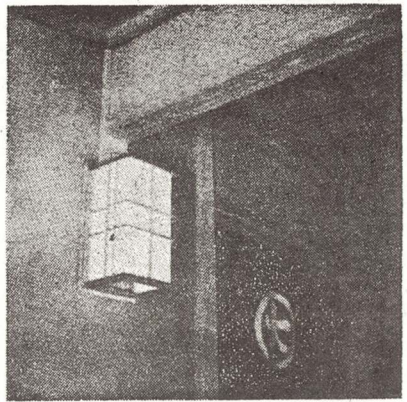
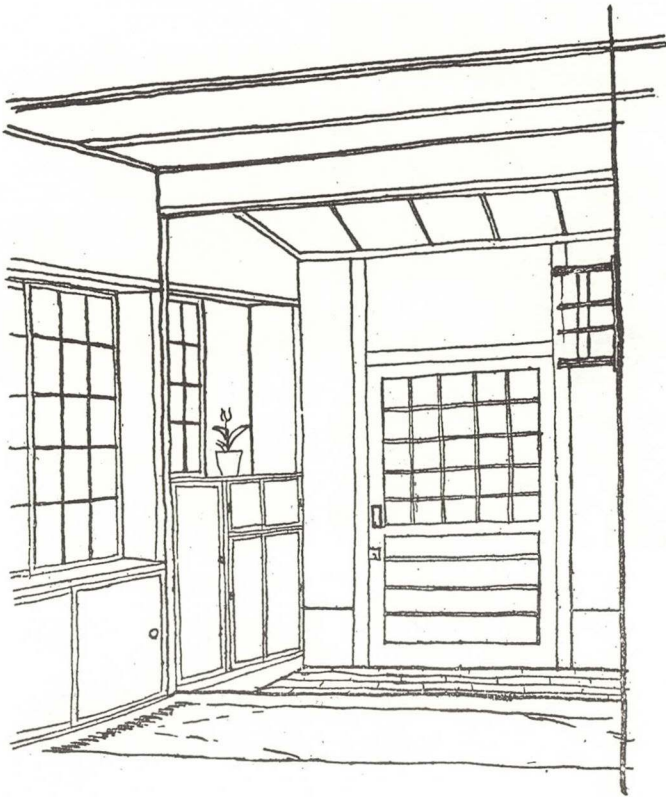
床は踏込床。床柱北山磨、地板磨。南は紙貼障子とガラス戸を雨戸の3重である。東の高窓及南の欄間は1つ

の框に紙とガラスを2重に入れた障子の一本引。障子はすべて半紙判太棧面取付子付。

調理室の床松の漆甲板オイルステン。壁天井白色プラスチック。腰白5吋タイル。木部淡青灰色オイルペイント。流し陶製。

平面圖





上左 玄関内部

土間天然スレート布敷。廣間床松縁甲板。壁桑染。出入口扉は壁の内へ引き込む。框、格子及棧、埴、腰綿板赤杉征、上部は摺ガラス入。

土間の腰巾木は赤杉中空。

下駄箱、傘立、出窓窓台下物入の戸は赤杉征。天板赤松。下駄箱上の障子は1つの框にガラス及紙を2重に入れたもの。出窓は紙障子、ガラス障子の2重建込。何れも外に粗い格子を打つ。

下駄箱及出窓の部の天井は杉中空一枚板。

土間天井は杉中空底目板貼で斜になつて居る。

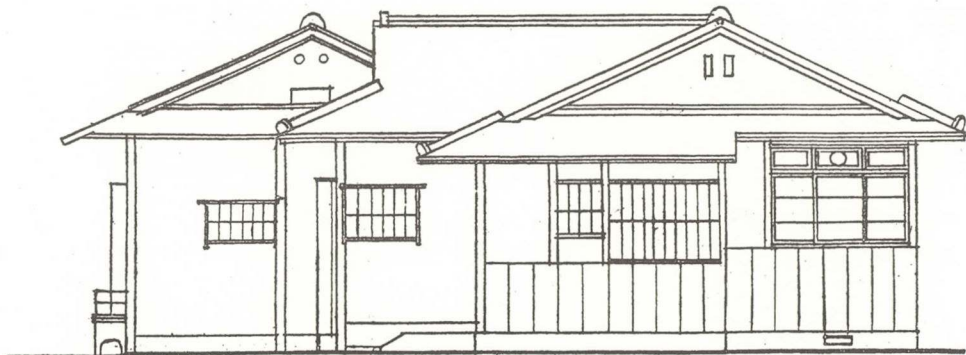
廣間天井この隅の様に大板猿頬縁の積りであつた、上右隅の様に変つた。

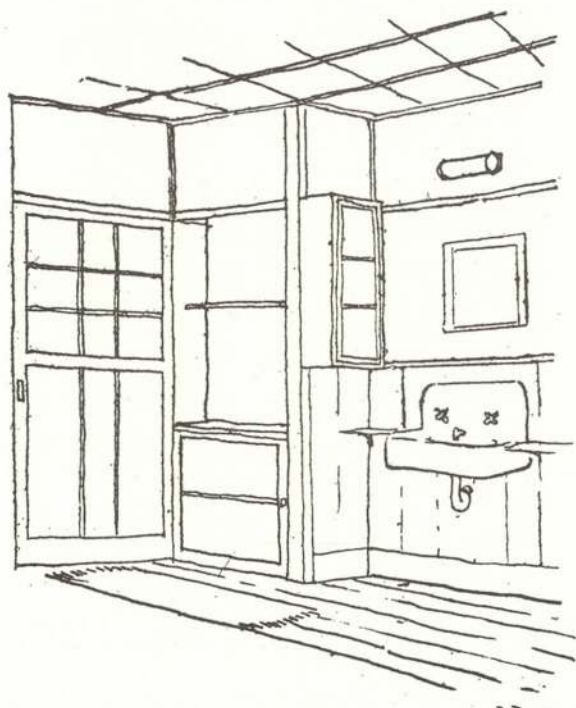
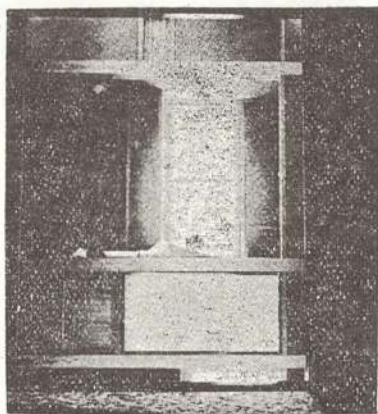
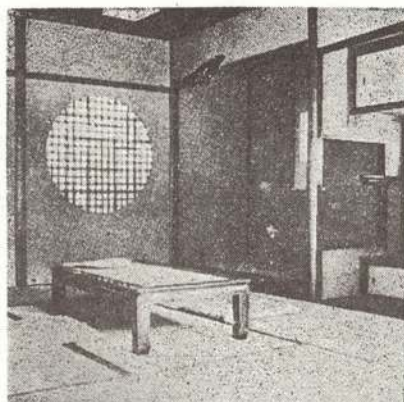
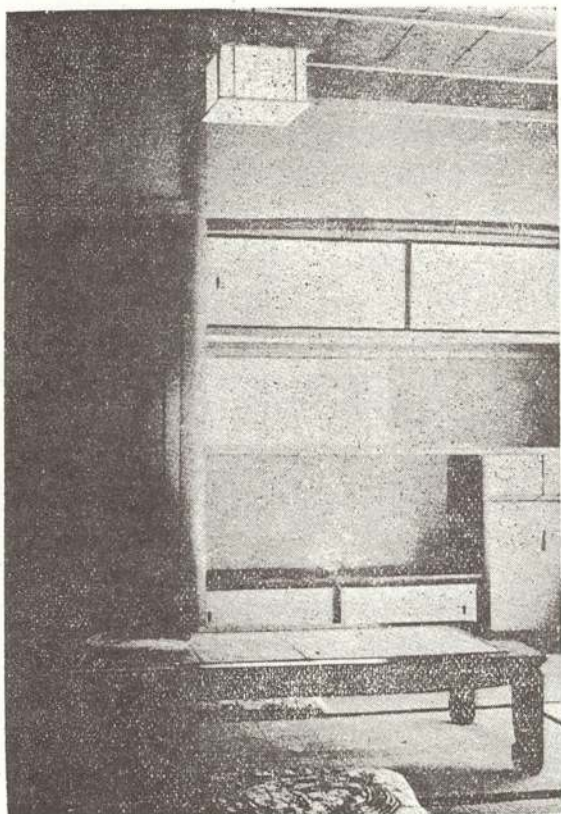
上右 玄関奥間照明器具

赤杉征、砂削り。障子紙貼。廊下との境に短い暖簾を釣る。

下 東面圖

東と北の壁は腰を母証板貼。





左上及右上 茶室

床と棚は平面計画上不都合だが、古材の仕口を改められぬからこの辺はもとのままである。但し棚の上の窓は新しく設けた。丸窓の左に瓦頭口を作り、開口周囲に漆紙を細く貼り坊主襖を立てた。茶室と云ふが、應接室にも客室にも使ふから法に拘泥しなかつた。

右中 水屋

表千家流で設計した。高い腰板を貼り水屋口を作つた。棚及腰板赤松。平素水屋を使はぬ時は左の戸袋から戸が2枚出て閉ぢる。窓は紙ガラス2重。

左下 脱衣室

造作及建具主として赤杉。腰板征板貼。壁黄漆喰燐磨。窓台下は外部より燃料庫に使ふ。

尚浴室は浴槽横製。床白と青灰色モザイツクタイル布松。腰白タイル。壁天井プラスター。

便所は床中高白タイル周囲緑色タイル。腰板全板縦貼。壁黄漆喰燐磨。水洗式。

京都市建物の現状

松井清之助

多数の木造家屋の密集々園を擁してゐる京都市は幸にも戦火の洗禮を免れたのでありますが、戦前戦後を通じて木造建物に對する適時適切な補修が施されなかつたために、構造的な耐用年限が著しく低下したと想像されたので昨年夏、京都府地震対策委員会では、京都大學建築學教室の協力を得て府建築課々員、京大建築學科學生、市立美工生徒等によつて市内の公共用木造建築物約五〇〇棟について耐震判定調査を実施したところ、調査建物五〇〇棟の約四割は早急に耐震補強をしなければならぬ状態にあることが明かとなつたのであります。（別表参照）

この結果から類推すれば木造の大規模建物、工場や劇場、學校や浴場等も戦前から適切な維持管理がなされてゐなかつたので、恐らくこれと同様に早急に耐震補強を要するものが多数あることゝ想像されるのであります。

又昨年十二月建設省建築研究所と協力して市内

の住宅の年齢構成及損耗状況を各地區別に約一千戸について調査したところ、次のことが明かとなつたのであります。

- （一） 構造的相違による耐用年限については四〇年乃至五〇年と八〇年乃至九〇年の二つの山がある。
- （二） 京都市の住宅の約一〇・六％が構造的耐用年限をすぎてゐる、（京都の住宅數二一二、一三五戸（昭和二十三年八月一日現在）従つてこれ等がやがて改築されねばならぬので潜在化した不足戸數として約二万戸ある。
- （三） 京都の住宅の年齢構成は大正以前のもものが三〇％、大正以降のもものが七〇％であり昭和初期に最大の建設量を示してゐるから二〇年乃至三〇年前から急激に建設されたものの構造的耐用年限を一應五〇年としても今から二〇年乃至三〇年以内に改造せねばならぬ時期に達するものが多量にあることが豫想され、しかも戦前戦後を通じて適切な維持管理がなされてゐないから此の時期は更に短縮されて、地震、大風等による災害時の損耗が憂慮される。

公共用木造建築物耐震判定調査概要

名 稱	調査棟數	耐 震 判 定 結 果				備 考
		A	B	C	D	
官 公 衛	42 棟	19 (9) 棟	3 (2) 棟	11 (1) 棟	9 (4) 棟	() 内數字は府管建造物の該當數を示す
	(16)	45%(56%)	7.1%(13%)	26.2%(6%)	21.4%(25%)	
教 育 施 設	262 棟	100 35) 棟	59 (21) 棟	57 (23) 棟	46 (9) 棟	"
	(88)	38.2%(40%)	22.5%(24%)	21.7%(26%)	17.6%(10%)	
厚 生 施 設	187 棟	78 (24) 棟	32 (7) 棟	49 (25) 棟	28 (8) 棟	"
	(64)	42%(37.5%)	17%(11%)	26%(39%)	15%(12.5%)	
合 計	491 棟	197(68) 棟	94 (30) 棟	117 (49) 棟	83 (21) 棟	"
	(168)	40%(40%)	19%(18%)	24%(29%)	17%(13%)	

A=完 全=予想震度 $\delta=0.2$ 關東地震程度の震度に耐え得るもの C=不完全=予想震度の $\frac{1}{2}$ 程度に耐えうるもの
B=不完全=予想震度の $\frac{1}{4}$ 程度に耐えうるもの D=不完全=予想震度の $\frac{1}{4}$ 程度に耐えうるもの

註 本調査は京都府地震対策委員会に於て京大建築學教室の協力を得て本府建築課々員、京大建築科學生、市立美工生徒によつてなされたものである。

昨年八月一日現在の住宅調査の結果によれば、京都市の住宅戸数は二一二、一三五戸、世帯数は二五六、三六〇で一世帯に對し一戸とすれば四四、二二五戸の不足となります。

これに加へて構造的耐用年限を經過してゐる二万戸の潜在化した不足戸数を合せると、約六四、〇〇〇戸の不足戸数となるわけでありませう。

この様な現状にあつて、われわれは今年に入つてから既に明石、能代、夕張の都市火災を聞いておりますが、都市としての大きな災害の眞因は「電氣事故」や「炬燵」や「煙草の吸殻」にあるのではなくて、都市を構成してゐる個々の建築物が「木造」であることにあります。

従つて個々の木造建物をいち早く不燃性のものに耐震的にしない限り都市災害の禍根を絶つことが出来ないのであります。しかし唯今の國狀からは直ちに耐震耐火建築の早急な建設は望めないもので、已むを得ず既存建築物群の耐震補強と緩燃化が促進されなければならないのであります。

京都府に於ては全國に魁けて「建築物防災判定調査手数料條例」を判定し、依頼をうけて手数料を徴して地震、火災、風水雪雷等各種災害に對する建築物の耐力の綜合判定調査を行つております。

要補強個所の指示、補強方法、補強資材の優先的、重點的割當を實施して着々とその効を収めておりますが、亦、京都のこの調査が一つの契機ともなつて、全國的に防災調査が建設省の指示によつて行はれようとしており、更に公共事業として公共建築物の防災補強も今年度から國庫補助によつて實施されることとなつたのであります。

かくの如く建築物の防災について強力に施策が實施されて來たことはまことに力強い限りであります。

總ての災害は地震にしても、火災にしても、洪水にしても、事前に災害豫防施設を整えて置かならば現在の日本の社會經濟狀況に於ても相當に災害を軽減し得る筈であるのに、今迄は防災といふ事業の地味な性質によるのか輕視され過ぎて來たのであります。國家財政の面からみても民生安定の面からみても、災害復舊と同じく災害豫防にも努力を傾注し都市防災の完璧を期さなければならないのであります。

京都府における

観光施設整備計画

長澤忠郎

(一)

観光事業は施設から一

一昨年の貿易再開に引き續いて、昨年は、外國人による日本國內短期觀光旅行が許可され、それと前後して、内閣に「觀光事業審議會」が設けられ、國際觀光事業に對する政府の大きな關心が示された。

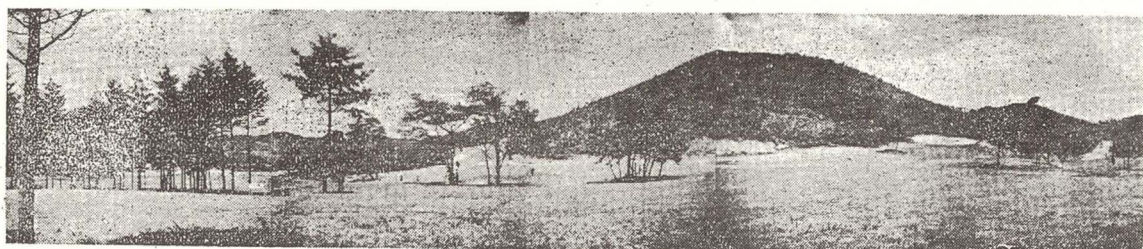
觀光事業は見えない輸出であり、また、國際親善のための文化事業でもある。このことは戦前も今日も變らない。しかし、外貨を獲得し、觀光客をして思うまゝに旅行せしめ、充分に旅情を満喫せしめるためには、觀光道路、宿泊施設その他の觀光施設が用意されなければならない。それを裏づけるように、觀光事業審議會は觀光施設計畫を重視している。觀光施設整備の必要性が強調されることは今日の觀光事業の一特徴である。

戦前においても、決して觀光事業が輕視されたわけではないが、今日程にその必要性が大きくなり上げられなかつた。新日本建設觀光事業において觀光施設が重視されるのは何故であらうか。

一つには、戦争によつて施設が破壊され、破壊されないにしても荒廢したことによるが、なお重要なことは、その後において交通機關が非常に發達したこと、觀光事業の重要性が、我國の現段階において特に眞剣に認識されたに外ならない。

(二)

京都市は京都府のみならず我國を代表する觀光地である。従つて、京都府の觀光施設を考へる場合に京都市が大きくとり上げられるのは一應當然である。然し、觀光施設の發達は觀光地の魅力を増し、距離を短縮する。もし、道路其他の施設が完備されるならば、京都市を訪れる觀光客は容易に京都市外の觀光地に足を延ばすであらう。また市外觀光地を中心とする觀光事業の發展によつてその地方の繁榮を來すのみでなく、京都市の觀光事業を、更にその拡がりとし深さとを増すであらう。



京都府の観光施設整備計画は、京都市及び天の橋立、宇治、笠置山、瑠璃溪、保津峡等、京都府の観光地に必要な道路、宿泊施設其他を改良設備し、更に隣接府県との連絡について計画し、約一五億円で、京都府及び京都市の協力により、本年度以降五ヶ年で實現を計ろうという構想である。

(三)

この計畫の、上賀茂ゴルフ場、京都御苑は既に實施中であり、また天の橋立、宇治、瑠璃溪、保津峡はいづれも京都府の公園として施設中である

が、しかし、この全体の計畫を急速に實現する必要のある際に府市單獨では到底不可能であり、國家の助成が強く要望される。第一次大戦の後、歐州復興のために、各國が観光事業を大きく取り上げ、非常に大きな成功を収めた影に國家の大きな力があつたのである。昨年歐州の四七個國の代表者参加の下にノルウエーで開催された國際觀光機關連合の戦後第三回の總會の席上で觀光事業投資に對する利潤について次のように述べられた。即ち、「天然資源に恵まれていない國も多額の外貨

を收得することは可能である。即ち、觀光事業のサービス提供によつて他國よりの多額の支拂を受けるのである。海外から莫大な量の原料を輸入する必要はない、そして國內全般への利潤は極めて大きいのである。觀光客消費の多くの部分がその國の諸多の産業を潤すことは確かである。それゆゑに國全体或は政府が觀光事業に補助金を與へ之を援助することは充分理由のあることである。」と。

京都府における観光施設整備計畫

種 別	期 別	個 所	内 容
觀 光 道 路	前 期	二 六 路 線 延長一〇二軒	京都奈良線、大津奈良線、途中越線、京都大阪線、堀川通外京都市内道路整備
	後 期	二 四 路 線 延長一四九軒	保津峡觀光道路、奈良彦根線、京都宮津線、天橋立縱貫道路、木津笠置月瀬線、龜岡南八田線、園部土畑線、宇治川沿岸道路、高野上賀茂線外京都市内道路整備
宿 泊 施 設	前 期	二 ケ 所	京都市、天橋立
	後 期	一 ケ 所	京都市
觀 光 諸 施 設	前 期	一 五 ケ 所 外に公衆便所 展望休憩舍等	上賀茂ゴルフ場、天橋立、宇治、嵐山、圓山、寶池各公園、京都御苑、西京極運動場整備、比叡山野營場
	後 期	一 九 ケ 所 外に公衆便所 展望休憩舍等	笠置山、瑠璃溪各公園、洛南競技場、大文字山ゴルフ場、沓瀧馬場、花背愛宕スキー場、雲ヶ畑獵區、桃山公園、嵐山舟遊場、宇治釣魚場、寶池公園整備比叡山ロッヂ、上賀茂植物園、京都博物館、圓山音樂堂、岡崎公會堂、郷土圖書館、見本市會館
交 通 施 設	前 期	二 ケ 所	天橋立、比叡山ロープウエー復旧
	後 期	一 ケ 所	圓山一將軍塚一清水一阿彌陀峯
史 蹟 名 勝 天然紀念物	前 期	二 五 ケ 所	二條城外
	後 期	二 二 ケ 所	仁和寺外

註 前 期 昭和二四年一二五年、後 期 昭和二六年一二八年

日本平和郷寶池公園の建設に就いて

高橋正典

我國の現代は觀光で晝け、平和の設計戦後の日本を觀光事業で再建して行こうと、まともに素直に解釋すべきである事は言うまでもない。

生活を科學するとか、科學する心とか、そうした事が強調せられた時代があつた様に我々日本人はとかく科學的訓練に缺けてゐる。例へば建築技術に見ると、旅館の設計にしても從來の形式を盲目的に踏襲するのみでなく、現代人の生活と旅行とを些細に検討し科學して採光、通風、美觀、快適などをそれ相應に改め其の居室又は部屋に入室すれば満足できる設備を持つて旅のつかれを自然に忘れる様設計を科學的に心掛ける事が今後は一層大切である。ホテルの設計にしても同様である歐米の様式に倣つてゐるから既に科學化されて居るとばかり早合點は禁物である。我國の氣候、風土、環境を充分調べて設計しなくては眞に科學したものではない。

例を宿泊施設にばかり取つたが、どの分野もそれぞれ科學して建築業界の進展をなすべきである建築技術が眞に科學化するなれば、必ず文化教養を高める事を期し得られるのである。

建築技術者各位の全部が科學する心で設計施行に當られるならば、日常隨性に流れてなかなか實行の出来ない日本人の日常生活も自然に新しく環境が改まり、建築技術に依り推進せられることゝ信ずる。

日本の現代は科學心涵養の最大の機會である。時勢の尖端を行くべき建築技術の意義が存するのである。

ボツダム宣言を履行する我國の經濟的發展の一方策として、外貨の獲得は何時如何なる時代に於ても最も緊要事であることは言を俟たない。現在内に於ては惡性インフレーションを抑制し、外に

於ては貿易の振興觀光事業の擴充等に依り外貨獲取するに非ずば、この末世的危機に直面する我國の立直りは極めて困難なる状態にある事は明白に公知の事實である。この秋に當り、唯一の非戰災都市京都がその有する國際觀光都市としての恵まれた環境を技術的に活用して平和國家建設の一翼を荷はんとして、神戸京都市長は國家目的達成のため一大奮起して大なる決意を持つて外貨獲得を期し、市民の負擔輕減、税外收入の公利を求め全市民の要望に應へんと日本平和郷寶池公園建設に立上られたので尊敬と敬服を惜まぬものである。我等も亦、其の趣旨に賛同しこゝに國際親善を計り、國際的文化施設を完備擴充し、以て京都市をして完全なる觀光都市としての形態を備へしめん爲に一臂の勞を致さんことを念願したのである。

想ふに、京都市及び其の周邊の天恵の美觀は、既に外來客の觀光慾を満足せしむるに足るものである事は今更喋々と述べる迄もないが、然し今後の建設事業は近代人の感覺が靜的美より動的美への探究に推移しつつある事實に、建設に責任のある技術者諸氏が深く認識して事にあたられる事を望む。從來の如く建設責任者又は技術者が十年一日否百年千年一日の如き靜的且消極的建設事業方法を固執し續ければ、忽にして時代の流潮より取殘される事は明白である。

現在の建設事業は少くとも、近代人の感覺にアツピールする内容を盛らなければならぬ。之なくして世界的水準に到達した事業としての資格はない。以上の如く近代的進歩發展は技術者の設計以前に計畫探究せられて始めて成立するものである

茲に日本平和郷寶池公園の施設計画概要を述べ、技術者諸氏の御協力を乞ふ次第である。



日本平和郷寶池公園施設計画概要

A、教化施設

- 1、動物園、動物収容室 2、生態動物園
3、放養場 4、水族館 5、學藝館 6、自然科學館 7、博物館 8、郷土歴史館
9、市民館 10、剥製昆虫館 11、天文台
(氣象天文台、プラネタリウム) 12、科學映畫館 13、林間學校

B、体育運動施設

- 14、自由廣場 15、トラツクフィールド、市民運動場 16、野球場 17、自轉車走路相撲場、拳闘場、蹴球場 18、テニスコート、バレーコート、バスケットボールコート、ハンドボール、バドミントンコート、クロケット、ホースシユーズ 19、ハイブライ、ベビーゴルフ 20、兒童遊園 21、馬場 22、水泳場、ボート 23、カヌー、和船 24、体育館(室内運動、卓球)

C、慰安娛樂施設

- 25、遊歩道、野外キャンプ場、釣魚場

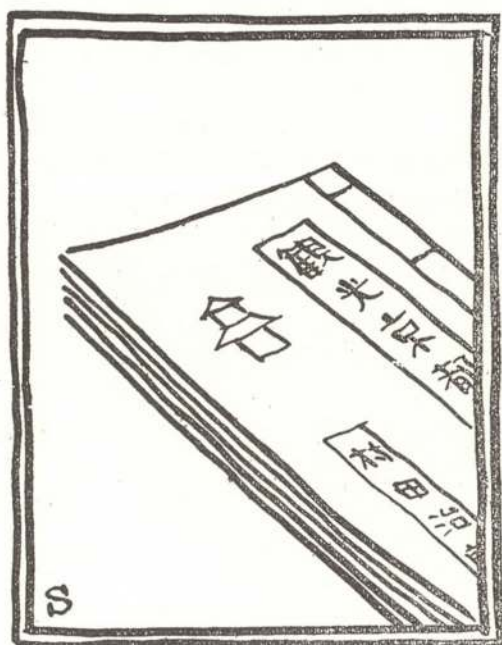
- 26、音樂堂、野外劇場 27、汽車、自動車ケーブルカー 28、ロープウエー、觀覽車 29、飛行塔、メリーゴーラウンド、ベビーバス 30、大山スベリ 31、ウォーターシユート、ボート、各種遊園施設、劇場、映畫館 32、室内遊戲場、ダンスホール、ダンシングルーム

D、宿泊休養施設

- 34、ホテル 35、食堂 36、キャバレー、グリル、キャフエー、溫泉、貸別莊、キャンプ、有料便所、化粧室 37、賣店 38、休養園 39、休憩所

E、其の他施設

- 牧場(牛、馬、豚、鶏、山羊、兎) 蜂飼育場、農園、溫室 40、花壇、果樹園(梅林) 41、展望台 42、觀光案内所 43、預所、便所等



観光京都の古建築案内

村田 治 郎

建築協会京都支部から本紙八月號京都版とするための表題のようなものを書けという御依頼だが、僅かの紙数のうちに一体何が書けるのだろうかと思ひ、先ず頭をなやまされざるを得ない。1冊の本でさえ、満足以説明しきれないほど多い古建築だから、2頁に要約することは不可能だと思う。それで表題の目的にかなうような参考書をならべ立てて、責任をはたしたことにしたい。

綜括的な案内書

京阪電鐵がかつて出版した趣味の京阪叢書は、戦後に京阪神叢書と改題して再生しており、どれも小冊子だが一寸おもしろい。そのうちに藤原義一博士著の「京の古建築」がある。それがあまり簡単で不満な人々にとっては、同じ著者の「京都古建築」がよかろう。目下のところ、これが最も範囲もひろく且つ詳しいかと思うが、古本でなくては入手できまい。戦後の出版では同じく藤原氏著の「京都の古建築」(京都叢書1)があつて、

前の本を要約したようなものだ。

以前の京都市観光課は非常に立派な案内書を出版している。昭和13年刊の「京都の古建築」、同16年刊の「京都史蹟古美術提要」、同17年刊の「京都古美術入門」をはじめ、繪畫・彫刻・庭園などの案内書は、いづれも寫眞版本位のものだが、随分よく努力して編集してある。ただ惜しいのは一般に販賣しないで、方々へ寄贈したにとどまるから、市議員などのところへは配布するがほんとうに欲しい人には行きわたらないことが多かつた。之等の本は京都の古本屋を少し熱心にさがせば、手に入るのではないかと想像するが、それ程努力して買う必要があるかどうかは疑問である。

鐵道省編の「日本案内記—近畿篇上」は最近復活したので、旅行好きの人々が是非1冊はもちたいところ。同じく鐵道省編の「寺まいり」「神もうで」の2冊も、神社佛閣をめぐるのによい手引きだつたと思う。近頃重版した川勝氏編「京都古蹟行脚」も便利らしい。これらの本は、建築のこまかい點が書いてない缺陷はあつても、建築以外の諸美術品をひろく採り入れている點が参考になる。建築家はとかく建築にばかり偏しがちだが、見學に歩くときは常に諸美術をあわせ見ることを怠らないように注意したいものである。

その意味から京都市編の京都叢書中の、川勝政太郎氏著「石造美術と京都」や重森三玲氏著「京の庭」が安價だし手にも入りやすいから、一讀されてはどうかと考える。さらに詳しいものには重森氏の「京都庭園の研究」や川勝氏の「京都石造美術の研究」があるが、これは少し専門的になり過ぎるかも知れない。

× × × ×

言うまでもないが、京都の古建築の1部分はたいていの建築史の本には書いてあり、別して天沼俊一博士著「日本建築史要」「日本古建築提要」をはじめ、寫眞本位の「日本建築史圖錄」6冊や先生の「成蟲樓隨筆」正・續・續々の3冊などが参考になる場合が多いから、1度はさがして見る必要がある。

特殊な書物

しかし正直なところ、上のような総合的な案内書は、1つ1つの記述がどうしても簡単であるか

ら、初歩の人には適当かも知れないが、少し進んだ人にとっては甚だ物足りなく感じられてくる。従つてもつと詳しい案内書が欲しいのだが、どうもそんな著書は殆んど出版されていない。正確に言えばすべての寺や神社その他の根本的な研究調査が、まだ十分出来上つていない缺點もあるのだが、同時に今の日本人の経済的能力では、假りにそんな詳しい案内書または研究書が出版されたにしても、果して何冊賣れるかが疑問であろうから書店が出版しようとししないのも事實である。

結局現状では甚だ不満ながら、幸にもかつて出版された特殊な出版物で、當分がまんせざるを得まい。ところが特殊な出版物というものは、飛びぬけた良書があると同時に、それより一そう多くの、どうにもならぬ愚書が存在に困らされる。とくに戦後の出版物は、紙質や寫眞版がまずいばかりでなく、内容までガタ落ちのが大部分である。

そうした中で福山敏男博士・森暢氏共著の「平等院圖鑑」は、鳳凰堂を扱った本としていかにもふさわしく、戦後の再版本までが見事なできばえである。寫眞版のよいのは戦前の銅版を利用した結果であるにしても、とにかく京都観光の標準的な良書であり、主要な神社や寺院にそれぞれ、これ位の寫眞版と内容との本ができ上らなくては、観光都市だなどと口はばたいことは言えないのではないか。

観光の目標で編集したものではないが、北尾春道氏編「國寶書院圖聚」13冊の中には、多くの京都の建築が含まれていて、勉強家は是非1度見る必要がある。同じく重森三玲氏編の「日本庭園史圖鑑」にも、京都の名園がすべて収められておるので、これまた熱心家の見のがしてはならない本だと思う。建築と庭園とは別々のものでなく、

一体として觀賞すべきであるにも拘わらず、建築家はとかく建築ばかりに重點をおきすぎる傾向があるのはお互ひに反省したい。

京都の古建築のうちで最も多く本になつていっている一つは桂離宮だろう。中でも一番手ごろの室内書は澤島英太郎氏著の「桂御山莊」であつて、高桑・岡本兩氏の「桂山莊」は「修學院離宮」とともに、何といつても戦後の出版であることが争えない内容だ。澤島君の「二條城」もよい本である。ただ寫眞や圖面を見るだけならば、少し古いけれども、川上邦基氏編の「桂離宮」「二條離宮」「仙洞御所・修學院離宮」と題する3大冊は見ごたえがすると思う。

寺では、かつて天沼博士が徳雲という雑誌に書かれたのを、後に抜刷合本として2冊の本とせられた「正法山妙心寺」に及ぶものはない。しかしこれはちよつと入手できまい。昭和9年に出版された「東寺の研究」はA5版の餘り厚くない本だが、いろいろの方面から諸學者が、建築・彫刻などあらゆる美術品を記している點が特色である。欲をいえば、東寺ほど美術品のゆたかな大寺で、こんな小冊子では少々なさないけれども。

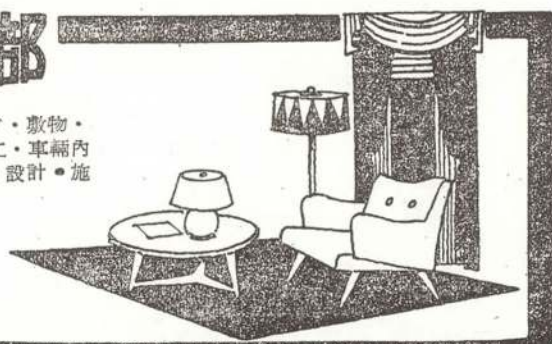
茶室めぐりには、岡田孝男氏著の「近畿茶室行脚」が寫眞も多くて初學者に便利である。服部勝吉氏著の「茶室抄・上」は東求堂・高台寺傘亭と時雨亭・玉林院養庵をかなり詳しく説明している。戦前出版された彰國社の「日本建築」には、多くの茶席が見事な寫眞で示されているから一見の價値はある。佐々木・岡本兩氏の「茶室百選」はまだ東本願寺・西本願寺・金閣と裏千家・松花堂の2冊しか見ないが、こんなのを見ているともつと堂々とした茶室の案内書が、もう出版されてもよさそうなものだ、つくづく思わざるを得ない。

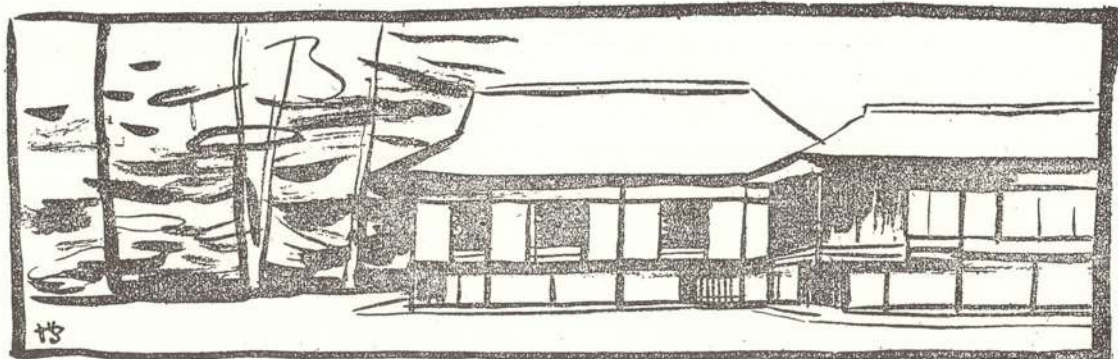


高島屋商事部

家具・窓掛・ヴェネチアン・ブラインド・敷物・
電灯器具・金属食器・室内裝飾設計施工・車輛内
部裝備設計施工・船舶内部裝飾・造作・設計・施
工・店舗改裝・住宅改造設計施工

京都市下京區烏丸松原上ル
電話 下(5) 14-15番





桂 離 宮

藤 原 義 一

最近桂離宮について一般人の関心がとみに高まつて来たように思はれる。時々頼まれて案内役をつとめるが、従来のようにいわゆる偉い人や特別な人々ではなくて、普通の民間の人々が多く、それに趣味や智識もあつて色々だけた質問も出て説明していても何となくのんびりとして楽しい気分がある。この気分が自分をしてここに桂離宮を書かせることになつた次第である。

桂離宮は豊臣秀吉が一品寺部卿智仁親王の別荘として造営したと傳へられるのであるが、動機はそれとしても現在の離宮には秀吉時代のものは少くとも建築には認められない。

長経凡そ二町程の不規則な四邊形の敷地の北寄りに書院があり、その前方に池や築山や石組を以てする林泉がひろがり、池をめぐり水に臨み、山に傳つて茶亭式の風流な建物が点在している。その造営年代については故澤島英太郎氏の説によると、初代親王の慶長末年から寛永のはじめ頃にかけて第一期の工事が行はれ、次代の智忠親王の寛永の中頃から末年の頃にかけて第二期工事が出来たものと云はれている。實際の建物についてこれを観察すると、書院の一部古書院を名付ける部分が慶長で、中書院と茶亭の月波樓がこれに近く、新書院と茶亭松琴亭・賞花亭・笑意軒等は第二期の作と考へられる。

林泉は小堀遠州作と傳へられ、遠州好みの特色は所々に認められるとのことであるが、確實なことは判らぬらしく、また月波樓の額に松花堂の署名のあるところより松花堂が多分関係したことも想像は出来る。以下それ等の建物を中心として大体の解説を行うこととする。

書院

屋根は主として入母屋造、檜皮を以て葺かれ、東から古書院に中書院が続き、樂器の間を挟んで新書院と少し後寄りに西方へ順次接続している。美しい苔庭の間に敷かれた眞の石畳と稱する敷石を踏んで先づ古書院の玄関に至る。上り口は地上より可なり高くなつていて、石段が四段、その上に沓脱石が置かれ、それは長方形の大きな花崗岩の前方の一角が少し鈍角をなして、沓をぬいで上るのに都合のよいように作られ、さりけなく深い配慮の一端が先づ示されている。これを上ると入側に沿うて縫の間・二の間があり、二の間の西が主座敷でそこに一間の床があり、その後ろ、縫の間の西にあたつて炉の間が設けられている。何度見ても見あかぬのはこの古書院で、簡潔で明快で、住宅建築の良さをしみじみと味ははされる柱は梅材らしく、その他これと云う値打ちのありそうな木材も用はれていない。簡単な竿ぶち天井が張られているだけで長押一つ打たれていない。

二の間と主座敷との間には鴨居と天井との間ぎりぎり一ばいにオサ欄間をあけ、またこの間の前面廣縁との境にも天井まで一ばいの大きな雲障子欄間が設けられている。この廣縁との境には半間の明障子が四枚立となり、その中央の二枚分と同じ幅で雲障子が二枚はめられているのであるが、上下同じ式の簡単な棧を組んだ障子で、これを閉ざして室内に座して眺めると、鴨居を隔てて上下同じ式の障子がくつきりと内外の明暗を劃し、またこれを開けると深い軒廂の下に美しい林泉が展望される。何十回來てもこの室のこの障子と欄間は美しく楽しく、飽くことを知らない最も好きなところである。

炉の間には疊半疊より少し大きい位の炉が設けられている。こゝは煖をとる場所であり、又湯を沸かしたり、一寸した煮物くらいはしたところで、昔の住宅にはこんな炉が居間や台所など所々に設けられていた事は古い繪巻物などには屢々見るが、現實に残っているものは甚だ少い。炉の上方の天井には空気を煙抜き設備も行はれている。

二の間の前の廣縁の前には簀子張りの露台が突出して設けられている。月見台と呼ばれているが月見にはさぞよいであろうと想像出来る。初代の智仁親王が歌人であり文人であり趣味深い方であつたと傳へられるが、古書院の建築にその事がうかがはれる。

中書院は古書院より床が一段高くなっている。平面は㍉目形の如くになり、西北隅に主座敷、その南に二の間、その東に三の間が並び、三の間には簡素な床が設けられ、その後ろは元は水屋にでもなつていたらしく、多少茶室的な扱いも見られる。主座敷には床はなくて違棚が一つあり、その袋棚の棚板が奥でいくらか低くなつているところや、四枚の小襖の中央二枚が帳台障子の襖のように奥の溝に嵌められて、左右の小襖の後ろに引きあけられるようになってるのが非常に珍しいように一般に云はれているのであるが、それほど深い配慮があつたかどうかは疑問である。

併しこの中書院になると建築はやや入念になり長押も打たれ、水墨繪の立派な襖もはめられ、床は簡素であるが脇にちんくぐりがあけられ、古書

院に比べてさすがに奥座敷の貫録を見せているがらんまのあきが少し低くなり、その外方に打つた連子も重厚さを加へ、すべての手法や感覚に古書院より幾らかの年数のずれのあることが感じられる。それは桃山時代と江戸時代と云うような時代的な様式の隔たりではなく、云いかへれば第一期工事と第二期工事との差ではなく、古書院と同じ第一期に、前者よりいくらか年数を置いて造られたもの、と考へられる。



桂離宮書院 樂器の間前面廣縁の廂を中心として
右方新書院、右方中書院の一部を示す。

次は樂器の間を経て新書院に移るのであるが、この樂器の間のあたりが實に興味津々たるところである。樂器の間と云はれるのは三疊敷ばかりの小さな部屋で、室内には奥の方の壁の高いところに長方形の小さな窓がただ一つあるきりで、晝でもうす暗く、そして奥行の方に沿うて浅い床のような場所が一つ設けられている。

この部屋の南側と西側の二方に折れて廣縁が造られ、西の廣縁の樂器の間の床と背合せの位置に壁を浅く引つ込ませて、地板の高さ一尺三寸ばかりの床のような場所が設けられている。

この廣縁の曲り角の部分は、深い廂となり、中書院と新書院の椽側を兩翼として、前方に廣い芝生を置いて背景の林泉を見晴らす展望の焦點であり、桂離宮書院の最も重要なキイボインとも云うべきところである。そしてこの場所は唯だ展望のためと云うのではなくて、色々な催しものや伝統的な遊戲などを行う意味をもつた所であるらしい草原で舞樂を催したり角力を取つたりするのを見物する棧敷となることもあり、またここで琴や琵琶を弾いたり、笛を吹いたり、時には簡単な能ぐ

らいもやつたであろう。これは丁度平安朝の寝殿造の渡殿で行はれた色々の遊戯や音楽の催はしの場合にあてはまる。

うつほ物語に「いまはなが雨がちなり。しづやかにふりつくらす日、ほととぎすかすかになきわたれり。月ほのかに見えたり。三ところながら、しづかにひきあはせ給へるいとおもしろく、こなたかなたの人はいづみどのにいててきく」

枕草子に「みなみのゐんにおはしますころ、西の對に殿のおはしますかたに、宮もおはしますば寝殿にあつまりゐて、さうざうしければふれあそびをし、わたどのにあつまり、ゐなどしたるに……」などと記されているように、寝殿造の寝殿や對屋や泉殿などを結ぶ渡殿で遊戯をしたり音楽合奏などをした頃の名残りを伝える場所である。初代親王が平安朝文學や歌に御興味が深かつたことと併せ考へれば當然このことは想像出来るであろう。そして音楽演奏のときには楽器をおく場所が必要で、ここの腰掛と稱される床のようなところは即ち楽器の置場所と云うことになる。同時に楽器の間と呼ばれる薄暗い小室は演奏者の控室、云い換れば樂屋であつて、そこに設けられた床様の場所も楽器などを置くところと云うことになる。

新書院に至ると、建築の感じが古書院や中書院とすつかり異り、色々華やかにまた重厚さを加へてくる。面皮柱も杉の磨丸太を以てする長押も、水仙の長押金具も、襖引手金具も意匠がこらされ風流が示されている。特にその主室には上段が設けられ、派手な附書院とこれに續いて二方に折れ曲つて飾りつけられた違棚があり、これは世に桂棚と呼ばれる凝つた美事な棚で、また天井もこの部分は特に格天井とされている。

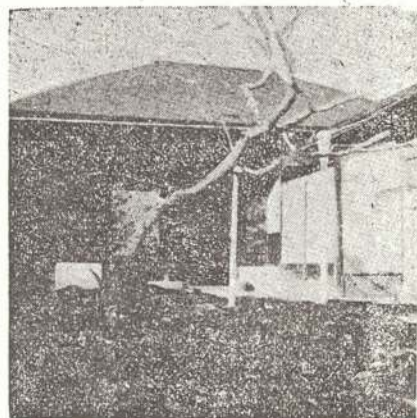
ここに注目されるのは上段に附書院と違棚とが直接につながつて設けられていることで、このような様式は初期書院造、即ち室町以前の建築に一般的に見られる現象で、後期のものには稀に見る様式である。この上段は學問の場所として實用的に設けられた所であり、その結果實用的であつた古い時代の様式が自ら採用されているのであつて時代は新しくなつても、實用である限り自ら本來の形が出現すると云う建築の一般原則がここに示されているのである。

上段の次に二の間があり、その境に設けられた鴨居上の欄間は月字崩しの欄間として世に名高い

上段間の背後は御寝の間で、そこには蚊帳の吊金具があり、室の一隅には御寝の節に大切な品をしまつておかれるための斜めに作られた袋棚が設けられている。その左隣りはお化粧の間で、ここにもこまごまと意匠をこらせた違棚が設けられ、それから奥に手洗、廁、浴室が続き、御寝の間の右方に隣つては納戸や衣文棚や大膳棚なども設備され、當時の上流の實際生活の狀態が眼のあたりに示されている。そしてこの新書院が第二期工事に成つたものであることも、中書院や古書院と比べることによつてはつきり判るのである。

林泉の亭

再び元の玄関へ戻つて次は庭園に出る。最も近くに月波樓があり、柿葺に太竹櫓、篠竹吹寄の小舞の屋根裏を見せ、杉の面皮柱や皮附自然木の柱や桁や棟束に風流な意匠がこらされ、開け放しの入口を入つた所の土間の片脇には板間があり、炬が造られ、水屋の設備や袋棚や隅棚や下地窓などに茶室としての色々趣き深い意匠が巧みに試みら



月波樓

前面)

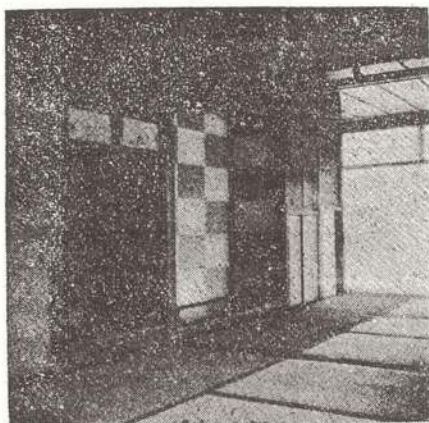
れてあり、土間を二方に圍つて部屋が三つ、その一つには床と附書院があり、次の室は少々廣く外方に狭い箕子櫓と簡単な手摺が設けられているがここに座して前方にひろがる林泉や松琴亭などの亭を見渡す風景は實に美しい。ここの襖引手も凝つたものであり、その引手の位置が隣室に面する方と高さを異にしていて何気ない所にも細かい配慮の行はれていることが示されている。また欄間の意匠にも甚だしやれた良きものがある。

月波樓はこゝの庭園中で最も古い亭であり、初期工事の終り頃に出来たものと考へられる。

次に庭池の東岸のほとりを廻つて松琴亭の方に向う。途中蘇鐵の生えている蘇鐵山のほとりに待合があり、枳形の手水石や砂便所があり、飛石傳いに横道を少し上つて卍形の腰掛のある亭に憩い下つて石橋を渡れば松琴亭である。深い廂をさし



松琴亭の西側面。
賞花亭へ上る途中より眺めたところ。



松琴亭 内部

かけた入母屋造茅葺の美しい亭で、廂から障子を開けて座敷を見れば、襖や壁の大柄な派手な而も落ちついた青と薄鼠の市松模様が得も云はれぬ華やかな雰囲気をはらせている。

廂の鴨居上の可なり広い壁面の下の方に一種のひょうたん形の下地窓をトボケたようにあけているのも甚だよく利いていて感心させられる。

奥の一隅に八窓の席と名付ける茶室もあり、やゝ混み入った感はあるが名席として數へられるも

のである。後方の部分は後世の附加であり、窮屈な中庭があつたり、茅葺の後ろに桧瓦葺の屋根が不自然に縋りついていたりして最初の形態を多少損じているところは惜しまれる。

更に池のほとりを廻り飛石を踏んで山道を上つて行くと賞花亭と名付ける小亭の前に至る。

桁行二間、梁間一間半の切妻造の茅葺で、兩脇と奥に半間通りのユカを造つて疊を敷き、前面の中央一間四方を土間として漆喰叩地に赤青黄色の小石を以て花文を散らし、修學院離宮の隣雲亭の廂土間にも見る美しい文様が造り出されている。

土間の一隅に炬が築かれ、ユカの背後には壁から浅く外方に造り出して棚や出窓が設けられ、全体化粧屋根裏の後ろから半間入つた片寄つた位置に棟木が通り、竹の種や小舞を配布し、左方の壁は一枚の大壁として棟木下の柱も束も見せず、その壁裾の前寄りに横に細長い下地窓を一つ開けたきり、まだ右方の壁面には棟木下に自然木の柱を見せ、柱から後の壁には大きな下地窓を開け、柱から前には軒桁に掛けて自然木の梁をわたし、梁上は壁とし、梁下は全部開放している。その構造も平面の取扱いも極めて自由で自然で野趣に満ち味はい深く、前面の軒桁には龍田屋と染めた暖簾を掛けて秋の紅葉を賞すとの事であるが、自分はこの亭が一番好きである。この辺り道のほとりに瑩燈籠と呼ばれる小さな石燈籠のあるのも興味をひく。

山を下つて御持佛堂、園林堂のほとりをすぎ、西の方に廻つて行くと笑意軒がある。茅葺屋根の可なり大きな亭である。深い土廂に飛石の配置が面白く、その鴨居上長さ二間の広い壁面の裾に六つの圓い下地窓が圓い提灯を並べたように一列に並んでいるのは實に面白く氣が利いている。内部の中央部に四疊と六疊と十疊の三室が設けられ、それが一つの竿椽天井を共有して、室境には竹節欄間から變化した面白い欄間を設けている。このように風流な氣の利いた茶亭風の建物でありながら、右方の妻に廻つて見ると、そこには妻軒の下に簡単な椽が設けられ、一寸見たところ普通の田舎家の椽先を想はせるような質朴な氣分が漂うている。その自由さと變化のある取扱いは、全く底知れぬ建築意匠の妙味を感じさせるものである。

重量物移轉工法の一考察

— 京都市格致小學校屋内体操場移轉の場合 —

京都市土木局營繕課

鐵筋コンクリート造建物を移轉する施工方法は一般に下記の三方式に大別して考へられる。

(A) 建物の舊位置及新位置に至る間の地盤を建物(基礎共)を水平に移動出来る範圍を基礎下部まで總掘りにして移轉する。

(B) 舊建物の基礎部分の土を取除き基礎下端を地盤面上迄建物全体を浮かし新位置迄移轉する。

(C) 舊建物の地下の基礎部分と柱、壁体部分とを切斷して切斷部以上を少し浮かし移轉する本移轉工事には下記の狀況に依り(B)と(C)との併用せる方法を採用した。

一、移轉する距離と方向を勘案して(A)と(B)との工費を比較して(B)が少し低價であること

二、建物の構造に於て建物平面の約 $\frac{1}{3}$ の部分が地階倉庫であり、その部分と他の基礎との差が約6尺あることにより(A)が不可能なること。

三、前記倉庫の柱及壁を(C)の方法に依り其の他は(B)の方法とした。

四、倉庫以外の部分を(C)の方法を採らなかつたのは切斷して新に基礎を設計する工費と浮き上げ高さを多くする工費との比較は(B)の方が低價であること。

以上の見地より以下京都市格致小學校屋内体操場移轉工事の概要を御紹介する。

移轉建物規模、構造

壁体 鐵筋コンクリート造 厚さ約5寸

小屋 木造洋小屋組

屋根 菱形スレート葺

天井 木造格天井

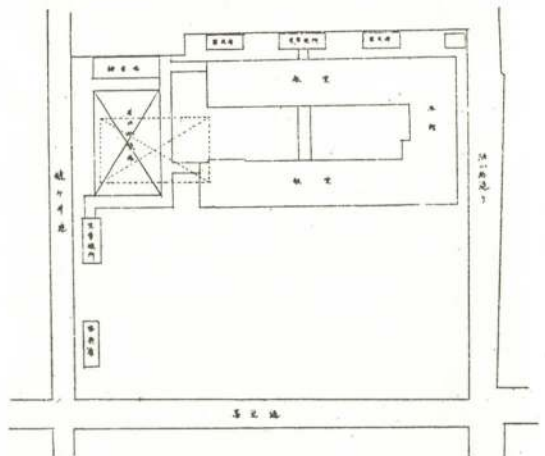
軒高 18.00 尺

梁間 6.93 間

桁行 11.715 間

建築面積 81.20坪 地階(倉庫) 27.10坪

建築物重量 120ton



機材一覧

4 ton	ジャッキ	首上 12 cm	68—	台	内 4 台は豫備用
鐵	コ	經 1 寸 長サ 12 寸	324—	本	
伏	鐵	P6mm 30cm × 91cm	162—	枚	
ワイヤー	ロープ	4 分	360—	尺	
ワイヤー	ロープ	3 分	720—	尺	
手巻	ウィンチ(カグラ)		3—	台	
補	強	(主なるもの)			
添	桁	松 36 尺 1. 尺 × 0. 5	20—	丁	
梁	丸	檜 40~50 尺 末口 6 寸	15—	寸	
ボ	ー	19 mm Ø	約 60—	本	
プ	レ	P6mm 1. 4 尺 × 0. 2 尺	約 60—	枚	

○ 内 体 操 場
移 轉 配 置 圖



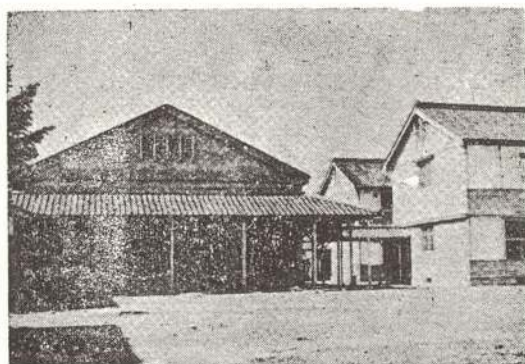
労働人員及日数

上げ前準備	60—	人	1 日平均	2 人	30日間
上げ前	45—	〃	〃	4.5 〃	10 〃
曳家	109.50	〃	〃	5.4 〃	20 〃
掘方	40—	〃	〃	2 〃	20 〃
計	254.50	人			80日間

外に基礎掘方及研工其他雑人夫を除く

工事施工順序及分類

- 1 移轉準備工事
- 2 上げ前準備工事
- 3 上げ前工事
- 4 曳家工事（移轉工事）
- 5 据前工事
- 6 据付工事
- 7 機械取外し



屋内体操場

施工の概要

1. 回轉中心軸算定

在來東西の向きの屋内体操場を現在の如き南北の向きに移轉するものにして距離に於ては在來の位置と現在建物との二點間最大距離及最小距離を約76尺、41尺移動間せたのであつて、その移動に伴ふ進行路の最大距離「手巻ウインチ（カグラ）の位置及回轉中心によつて異なる」約88尺であつた。

移轉する回轉中心軸を二ヶ所とした理由は本建物の位置は配置圖に記されている様に西側道路と校庭との差が約1.2mあり尙道路が隣接してゐて建物の回轉する軸を1ヶ所にして行ふ時は建物が道路上に完全にはみ出すことになり長時日を要する。本工事には不可能なる故舊位置と新

位置の間を45度宛回轉して道路に支障なき様回轉軸を2ヶ所に算定した。

2. 移轉準備工事

先づ新位置の水盛遺形を出し在來雨天体操場附屬控室（鐵筋コンクリート造）及木造床を撤去し軒打及周圍

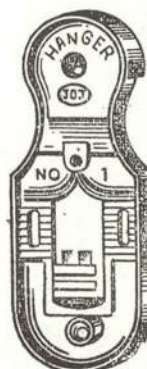
土間コンクリート毀ち基礎周圍土砂内外共約三尺巾にて舊地盤より深さ約3尺舊基礎栗石下端が全く露出する迄掘り下け残土は一時周圍に盛り上げた後内部の土のみ在來地下室の底部に埋戻し内部の移轉機具配置に便なる様に處分し外部の土は上げ前に伴ふ舊基礎の空所に埋戻すためそのまゝにして置いた。

西方在來附屬地階部分の壁体は東側基礎コンクリート底部の高さにて水平に研り足固めをなしジャツキにて建物を支持した後切斷した。

露出した基礎を検査して新基礎と舊基礎との間に流しモルタル厚さ2寸の余地を見て新位置の基礎掘方をなし充分栗石を搗固めた後新基礎のコンクリートを打終つた。

3. 上げ前準備工事

足固めとして長さ6間巾1尺厚5寸の松材をもつて梁間、桁行に内外壁に沿ひ凡そ舊地盤より約1尺5寸床下換氣孔上部に水平に架渡し豫め壁体を研つたボルト穴に經6分長さ2尺のボルトを通し内外に巾2寸厚さ3分プレートで以つて緊結し足固を堅固に取付け次に建物の床下換氣孔及其の高さにて約1尺5寸角に壁体を



建築 J.O.J. 金物

ドア J.O.J. 印ドア-ハンガー

工場、倉庫、ガレージの扉に
御使用を御奨め致します
(全国金物店にあり)

代 浅野金物株式會社
理 大阪・東京
店 岡谷鋼機株式會社
大阪・名古屋・東京
製造 大同鑄造株式會社

斫り取りその開孔部に桁行6ヶ所兩側にて12ヶ所梁間5ヶ所に末口6寸長さ40~50尺の檜丸太を挿入し内部の十字ヶ所は番線ワイヤーロープにて緊結し外部の足固めとの交叉する部分はプレート及びU字形ボルトにて緊結し上げ前に依る平面形の歪みを防止した。

建物の大なる開口部分即ち正面入口及演壇後部の壁体及基礎は足固めの添桁よりワイヤーロープ及鐵鎖にて支持し地下室入口脇の壁体分離箇所は前に述べた足固めより緊結維持した。ついで各隅及桁行12ヶ所梁間5ヶ所に床下換氣孔及開口部に長さ1間4寸5分角の栗材を掛梁として通し足固めの下端に添へ梁兩端下部より末口3寸の杉丸太を方杖とし窓鴨居迄架けジャツキに依る下げ前の補強とし梁兩端下部に64ヶのジャツキを添へる。

4、上げ前工事

4~5人が内外に別れ配置したジャツキを水準器にて建物の大体の平均を保ちつゝ順次廻しジャツキの最昇限度に達すればそのジャツキに添へして他の豫備のジャツキを堅木の枕木に差加へて一段と高く据へる。上げ前は斯様にしてジャツキを取換へながら建物の基礎下端を地盤迄持上げたのである。

1日平均5人で昇度は約2寸5分~3寸程度でこの工事に於ては約3尺建物を持上げたので10日間を要した。

5、曳家工事(移轉工事)

舊位置の建物の或る一點と新位置のその點を結ぶ直線の垂直2等分線の交點がその移轉中心となるのであるが本工事に於ては第一期改築校舎及西側の樹木等が障害物となり一點の廻轉中心では移轉不可能であつた。

故に移轉に伴ふ新基礎と移轉建物基礎との交點とその兩端迄の距離が等しくなる東側の交點を第2回の移轉中心となしその位置に移動できる建物の西半分の中心を第一回の回轉中心としたその中心より各支持ジャツキを結ぶ放射線上に合致する如くジャツキ下の鐵製コロの方向を定めた尙コロ兩接面には鐵板を入れた。圖示の如く木製手巻ウインチ(カグラ)を3基据へ付け延360尺の4分ワイヤー、約720尺の3分ワイ

ヤーで以つて出来るだけ長く使用し1本のワイヤーロープで2~3ヶ所を引廻す様圖示の如く滑車を配置した。進行に従ひコロの方向が變化するので内外共に4~5人が玄能で順次コロの方向を移動中心との放射線上にある如く方向を變へ進行路の敷板を變へ手巻ウインチ(カグラ)を巻いて移轉した。カグラを巻き續けてゐる間は直線進行の時は1分間に約1~2尺であるが引廻し回轉の場合は2.5~3寸である。

然し準備切換等に思はぬ手間を要したので此等を考慮に入れると平均速度は1分間に2分程度である。本工事に於ては最大6尺である。

以上は第1回中心に依る曳家であるが先づ述べた仕置に舊基礎と新基礎の交點が合致した後手巻ウインチ(カグラ)を圖示の如く据へかへその交點のコロを外し回轉軸とし第1回と同様に建物を引廻し所定の位置におさめた。

6、据前工事

第2回の移轉中心によつて所定の位置におさめたのであるが約2寸角に總体に偏してゐたので南側壁体より方杖を立てて南側のジャツキより降り始めて順次北のジャツキを下しつゝ位置の狂いを修正した。

7、据付工事

建物の支持ジャツキはそのまゝにして予め築造した新基礎コンクリートの上より旧基礎の内外に假枠を當てモルタルを挿入した。

8、機具取外し

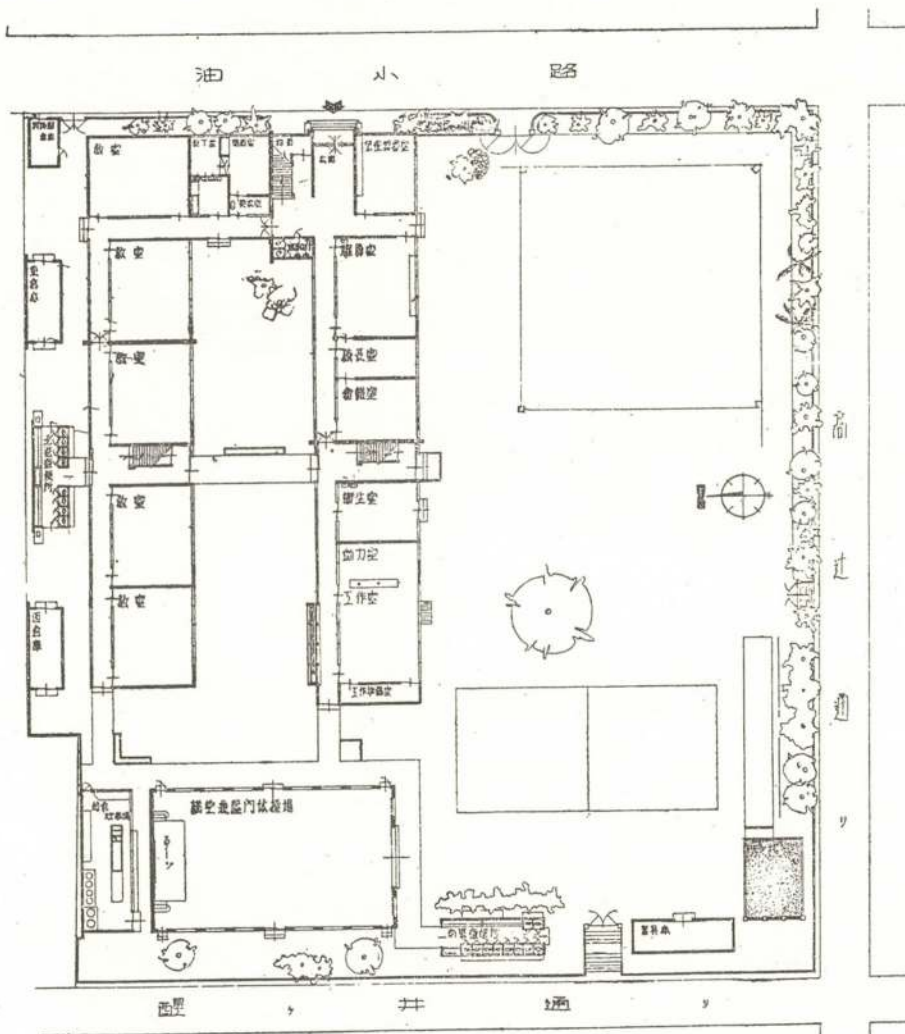
コンクリートの硬化を7日間待ちてジャツキを外し内外の機具及假枠を取外し基礎周圍を埋戻した。

以上で移轉工事は完全に終了したのである。

9、移轉工事の結果

移轉建物の地階部を他の基礎の底の高さで切断して移轉したため、壁体部分が他の部分より弱いため、上げ前及曳家工事に際し、窓及出入口下部分の壁の鐵筋コンクリート造壁に一部細い亀裂を見受けられた。其他の鐵筋コンクリート造主体及木造小屋組には構造に異状は認められなかつた。

屋根スレート葺は殆ど破損せず、外装モルタル塗は前記の亀裂以外は異状はなかつた。内装プラスター塗は全般にわたつて細かいひび割れが出来たため、上塗り替えをなした。 以上



京都格致小學校配置圖

(説明次頁)



最高の水準を行く

松谷の製品

洋家具、室内装備、設計施工

合資会社 松谷製作所

神戸市葦合區若菜通六丁目二九〇



京都市格致小學校改築工事説明書

A 教室改築工事の部

教室及各室 木造瓦葺2階建 1棟

1階床面積 1024.92m²

2階床面積 1018.44m²

B 在來屋内体操場移轉模様替工事の部

内部仕上

鉄筋コンクリート造スレート葺平家建 1棟

建築面積 268.38m²

C 便所、器具庫、屋内体操場附屬廊下改築工事の部

木造瓦葺平家建 4棟

延面積 177.60m²

場所 室名	床	腰	壁	天井
玄関	モルタル塗	ベニヤ板張	眞壁漆喰塗	テツクス張
教室及管理室	板張	羽目板張	全上	全上
使丁室	{板張の上 ぎ敷}	{眞壁 漆喰}	全上	棹縁天井
宿直室	全上	全上	全上	全上
湯沸場	モルタル塗	羽目板張	全上	テツクス張
更衣室	板張	全上	全上	全上
階段室	全上	全上	全上	全上
職員便所	モルタル塗	モルタル塗	全上	全上
廊下(一階)	全上	羽目板張	全上	全上
全上(二階)	板張	全上	全上	全上

外部仕上1階及2階共腰下見板張、壁は眞壁漆喰塗。妻薹部はメタルラス No.29張り色モルタル塗 玄関外廻りは壁タイル貼り。床コンクリート打モルタル塗り庇天井メタルラス張プaster塗。

2.在來屋内体操場移轉模様替工事の部

在來建物移轉

在來木造床取除き在來鐵筋コンクリート造基礎共曳家移轉工事。在來西方地階のある部分の壁

体は東方の基礎コンクリート底部の高さで水平に切離し、新位置には基礎底コンクリート打ち豫め造り燧材、緊ぎ材等補強材取付け新位置迄曳家移轉作業をなした。

内部演壇廻り及天井、床は新規改築

建物位置 京都市下京區油小路佛光寺
設計及工事監督 京都市土木局營繕課
施工 株式会社 戸田組京都支店

土木建築設計施行請負

合資会社 三和工務店

代表者 長瀬 博

本社(建築部) 京都市中京區柳馬場二條下ル
電話 上 ③ 1427番

出張所(左官部 建具部) 京都市上京區田水淨福寺西入
電話 西 ④ 2735番

塗は刀根

京都市中京區竹屋町通り富小路東入ル

刀根塗装店

電 上 ③ 1478番

性病と建築

安住義人

現在日本に於ける性病患者の数は約一千萬人と稱されその中梅毒患者は約三百萬人で梅毒によつて死亡するものが年約十五萬人である。今最近の血液梅毒反應の調査を見ると次の如くである。

都市成人（大阪市四、五〇〇人）	一一・三%
田舎成人（東北地方五二九三人）	九・七%
小學兒童（仙台地方約千人）	二・八一四・八%
細民（三七〇人）	二五・〇%
男女受刑者（一六八一人）	二二・七%
劣等兒（兵庫縣一四〇人）	二〇%
虛弱兒（一一五人）	一〇・四%
遊廓娼婦（京都市新規就業者九三四人）	四五・八%
街娼（京都市一一一四人）	一〇・八%
京都博覽會入場者中検査希望者（二七一名）	六・六%

この様に梅毒患者は日本成人の十人に一人といふ程恐しい数字となつてゐる。然し一面京都府北桑田郡山國村の如く青年團處女會員二八五名中三名（一・一%）の稀に見る梅毒の少いところもある。

性病の感染源の七五%は遊廓で残りの二五%が一般人からうつるのであり所謂ヤミの女等から感染するのは数にしては大したものではない。更に最近の傾向としては良家の子女が性病にかゝり然も相當進行したものが多いそれは戦後現はれたダンスそれにつきもの、キツス等により感染の機会がある。中には處女ではあるが梅毒を持つてゐる人がある。

まさかこんなお嬢さんがといふ様な人が咽頭や眼に梅毒が現はれる様な時代となつた。

これは敗戦前の厳格な男女の交際が敗戦を契機として亂れて來たことは事實であり殊に戦時日本全都市を襲つた大爆撃により青年男女の心中に大きな動搖を來たしこれが敗戦により大變革を來したともいへる。敗戦による道義の顛覆殊に性道德の紊亂に至つては眼にあまるものがある。

古來日本の性道德は男女七才にして席を同じくすべからずの謠の如く嚴格を旨としたものであつた。男女の交際がこの様に變化するに従つて室内外に於ける方式にも大きな變化をもたらしたものであるが日本の建築はこの点に関して大いに考慮すべきことが多々ある。

日本の家族の住居の方式は欧米のそれと異り寢室に於ては両親も子供も殊によれば祖父母も一室に寝なければならぬ。従つて夫婦の交りも深夜ひそかに行はれるのである。反之洋風の様式では夫婦及び子供の寢室は別々で殊に夫婦の寢室はドアに鍵がかゝり夫婦の交りも電燈の下で彈るところなく行はれる。従つて男女の局所の病変等もよく判るわけであるが日本流の部屋ではこのことが出来ない。眞暗な闇の中で行はれるのである。遊廓に於ても同様で隣座敷との境界は襖や障子である。又縁側づたひに隣座敷に行ける。何時隣の部屋から闖入者があるとも判らないところである唯離れの四疊半のみが辛じてこの關係から幾分除外されてゐるのみであるがそれとても錠のかゝる仕組になつてゐない。それ故日本では古來男女の交りは電燈を消して布団の中で眞暗なところで行はれるのが風習となつてゐる。従つて女郎衆の局部に梅毒や淋性、軟性下疳第四性病等の如き性病があつても氣付かれる心配がない。従つて日本人の性病は際限なく傳播するわけである。我々が日常診療してゐる女の患者を見てもこんな大きな変化のあるものがよくも男に判らぬものかとあきれる。これは皆んな寢室の構造が病氣があつてもお客には判らない様な仕組になつてゐる。これでは如何に性病予防法が施行されてもまづ寢室の構造をつくりかへることが先決問題であると思ふ。殊に男女の性生活が戦後洋風に轉換しつゝあることを思へば尙更にこの感が深い。私は今性病を相手に日夜若い男女の診療にあたつてゐるが從來の経験からして日本の性病を撲滅するには先づ建築家の一考をお願いしたい。

これまで建築と結核については採光通風等に関して建築家も特に注意を拂つたところであるが戦後かくも変遷した性生活に對應するにはまづ建築に重點をおくべきでこれがやがて性病撲滅の根本となることと思ふ。

更にこゝで一言しておきたいことは學校教育が男女共學制となつたことである。男女共學の際最も注意を要するものは廁である。先日もある高等學校の廁を見せて貰つたが驚いたことには大変な落書がしてあり先生方も全く氣付かないのである。いくら注意してもこの時代の青年はこれに興味があるので落書をするわけで建築家が落書の出来ない廁を作るのが肝要であるそれには廁の壁の代りに小さい竹等を張りつけることも落書の出来ない一方法である。

要するに今の日本建築には性病の傳播を助成するが如き点が多々あると思ふ。私は性病の予防は性教育と性病の恐しさを充分教育することゝ一面に於ては日本人は必ず一夫一婦制を確立し青年男女の純潔が如何に崇高なものであるかを訓育することである。性病の予防は一にも二にも教育であり決して性病予防具ではないと信ずる。私は性病予防の一面として建築家の再考をお願いする次第である。

聲

職別業者と材料業者より

京都府管工事業者
京都電気工事業者
京都材料商者

六月二十三日職別業者及び材料業者が集り官公署や総合請負業者に対し不平不満のある点を話し合いました其の重なる点を列記いたしますと次の通りであります。

官公署に対して

- 一、特別調達で一つの工事を請負ひますと之に對する書類は七通から作らねばならず、それが一部変更でもありと更に七通からのものを全部改訂せねばならぬ、之が爲めに多大の時間と勢力を要します。何とか其の手續、又事務の簡素化を計られたい、又出来れば法律第一七七號を撤廃して戴きたい。
- 一、臨時建築物制限規則の撤廃を希望する。
七月一日からは十五坪迄の制限が三十坪迄は届出だけで宜しい事になりましたが資材の配給を要するものは従前通りである。持つている管の無い資材を申請者が手持ちである場合は許可になり、業者が手持の物は許可にならぬ。矛盾のことが多い。
- 一、現今でも、まだ入札保証金又は契約保証金を出さねばならぬ官廳がある。前渡金を受けるのが普通の時代であるから之はやめてもらいたい。
- 一、職業安定法に依つて「請負工事であるものを勞務供給になるから勞務供給として支拂を請求せねば違法である」と、極めつけられ困る事がある。之は各職別の工事に關しそれぞれの工事に精通した役人が見て戴くならば問題は起らぬと思ふ。宜しく各職種別に工事内容に精通して戴き度い。
- 一、健康保険、勞災保険等の率を引下げられ度い。
- 一、配給物資の割當証明書が発行が其有効期限のま近い数日前位に發行される場合がある。現物化するのに大

変に困る場合がある、發行時期を御注意願ひたい。

- 一、官廳の内、或る課の如きは一つの割當切符を一商店に渡し置き其れを分割して引渡指圖書を發行せられる場合がある。之が應々にして其距離に送らねばならぬ事がある、然も其土地には同一品を取扱ふ店舗があるが其店では求められぬ、不都合が起る、かゝるものは引渡指圖書でなくて、何處でも求められる正式の割當切符を發行して戴き度い。
- 一、切符の發行と使用面との時期が一致せぬ場合がある使用することの出来ぬ時期に出荷せねばならぬやうな事が起り實狀を無視した發行で困る、發行の時期を考へて戴き度い。
- 一、請負入札制度の改良を希望する。
適正價格の者に請負せられたい、安い者は無理が生ずるから。

総合請負業者に對し職別業者から

- 一、下請業者又は材料商に對する支拂の保証を官廳でして戴きたい、例へば官廳等より支拂を受けながら下請業者に支拂をせない者は次の請負入札には参加させないとか又は雜誌或は其他の方法で不拂ひ者であることを公示して其ことの無いやうなることを希望する。
 - 一、請負工事が完了した場合、綜合業者は其下請者に對して、一方的の當割ぶちの支拂をせられる場合がある之は双方向的で改正せられたい。
 - 一、現場に於ける「ズレ」を無くし、ロスの無いやうに願ひたい、現場の状態を充分に知らず又打合せが良しからずして、爲めに工事にかゝれないのに、現場進行き何もせずして歸り更に又出掛けねばならぬやうのことが多くて困る。
 - 一、仕様書にあつてゐれば悪くても安ければよいという風でその者に仕事を下請せしめられることは考へてもらいたい、よく吟味してもらいたい。
 - 一、綜合請負業者の現場監督員の技術が低下しているやうに思ふ、それが爲に仕事がわからぬのに、小言を聞き困ることがある。
- 以上色々と不平を申し上げたが私共職別業者の方でも大に反省せねばならぬ、良心的に仕事をするやうに自肅自制して努力を致したいと思ふ。

役 所 か ら の 要 望

京都府建築部

建築請負業者へ

- 一、建築法規に違反しないように。もし法規についての

- 質疑があるときは、事前に連絡、相談されたい。
- 二、建築法規（規則制定、改正など）の周知、連絡の便宜のため、同業者の組合、団体などを結成されたい。
- 三、良心的な工事をするを念頭に、技術者の確保養成等、技術の向上を計るよう努めてほしい。
- 四、契約関係書類はよく検討し、計数は正確を期してほしい。

建築材料業者へ

- 一、建築資材関係の統制法規がある以上は、それを守つて、違反しないようにしてほしい。もし制償証明書を引き換でなければ販賣することができない資材（指定生産資材）を、需要者から証明書なしに販賣してくれと強要されたときは、事前に連絡、相談されたい。
- 二、同業者間で組合事務所のようなものを設置して、そこで需要者の建築材料に関するすべての照會に應じるようにしてほしい。
- 三、新材料又は戦前と同じ品質規格の材料が生産されるようになったときには通知して頂きたい。又見本や型録を送付される時には、同時に価格表を添付してほしい。

仕様書の難点を衝く

エノキ生

一、仕様書と記載材料

機土化せるわが國の、建設に對する、材料界が、復興に占める地位は、予想外に、大なるものがある。戦後、官公民間を問はず、建築設計者の仕様書記載に對する使用材料は、不足物資に付きては、相當認識され代替品の使用等も認められつゝあるも、尙望むらくは材料實情を製造業者或は販賣業者に照合し、其有無、多少等を確認して仕様書の作成に當られたく例へば、アスファルト防水工事に於てブローン・アスファルトの使用を指示され

居るもののみなるも、現在特需向けを除けば、日本全國に對して建築界に割當らるゝブローン・アスファルトの量は、月額十トンに滿たざる有様にて、仮にルーフィング三層、アスファルト三層式防水工事として、一平方米のアスファルト使用量三・六キロ瓦とせば二・八〇〇平方米の施工量に該當し、昭和十年頃の建設に為る鐵筋コンクリート構造小學校一ヶ所程度に過ぎず。

然るに現今の仕様書が、アスファルト防水は總てブローン・アスファルトとせるが如きは仮令配給ルートに依らざる、横流れ品を、加算するともブローン・アスファルトのみを以て、施工するは不可能の事にて結局は、仕様書に反せるゴマカシ工事を為さしむの外なく、之等はたゞ其一例として、載げたるに過ぎぬ。

設計者は監督者と、施工者の立場をも、考慮し充分材料の實情を調査記載さるゝ事を切望す。

一、仕様書と實施工

理論と實際の、とまなはざる事は、建設に限るものではないが、設計と、施工との相へだゝる事、亦はなはだ多し。

設計者のみならずメーカーが其製品の、プロパガンダに、或は模範仕様書例に其過ちを為せるものも、しばしば見受る處にして、波型スレート葺工事に於て、豎母屋當りの釘止は別とし、横十一山半の物、使用に際して重ね掛け二山目に釘止し、次の釘止穴は、七山目として、送り五山目止と為すも、秒速十米程の、暴風に、めくららるゝ事もなく、氣温に依る、伸縮被害を受くる事なし然るに、重ね掛二山目より打出し五・八、山と中二山置に釘止せしむる如きは、貴重材料を不必要に使用し、せんこうによる材料の、弱体化を計る事となる理なり。

再びアスファルト防水工事に例を取れば、わが國の如き地震地帯に於ける、建築にありては、常に上下動水平動、の衝撃を予期して、設計せざるべからず。

此場合陸屋根防水工事の、下地がコンクリートにても微細なる、龜裂は防止不可能なるが故に、出來得る限り下地と、防水層は、密着せしめず絶縁し、アスファルト

營業品目 日本浪型スレート・大平板
日本厚型スレート・小平板

製造販賣 並ニ 工事請負

日本スレート株式會社大阪工場

東京本社
東京工場
仙臺工場
東京都中央区銀座七丁目三番地
電話銀座57・三二九七・五二九六
東京都北区豊島七丁目一六番地
電話王子(81)三一五一番
仙臺市中田町恵土一番地
電話中田一五番

大阪

營業所 大阪市西淀川區千船東二丁目二三番地
東工場 電話淀川(47)0888・1869・1908番
西工場 大阪市西淀川區佃町二丁目一五四番地
電話淀川(47)1801・1082番

防水層のみは、勉めて薄き斑なきフィルム層、構成せしめ、骨材層と共に、回数を増して、施工する事が耐久性を増し、防水層が下地の龜裂にともなふを防ぎ、施工後の事故少なし

官署の一仕様例を示せば

第一層アスファルト・プライマー塗

第二層ブローン・アスファルト流し塗一平米一・二キロ使用

第三層ブローン・アスファルト一平米當り一・二キロ流し塗フタルーフイング貼付

第四層ブローン・アスファルト流し塗一平米當り一・二キロ使用

第五層ブローン・アスファルト一平米當り一・二キロ流し塗つゝアスファルトフェルト貼付

第六層ブローン・アスファルト流し塗一平米當り一・二キロ使用

第七層ブローン・アスファルト一平米當り一・二キロ流し塗つゝフタルーフイング貼付

第八層ブローン・アスファルト一平米當り二・四キロを二回に分けて流し塗仕上、

前記の仕様書に對し、筆者が永年に渉る、雨洩れ事故に對して修理の際発見せる欠点を逆説的に説明すれば、

防水下地の龜裂に防水層が密着せるため、共に連れて切斷され防水層にも龜裂が生じて居る（下地と密着に依る）

骨材層間中のアスファルト・フィルムが、厚過ぎるため盛夏時の高熱に依り、押へコンクリートの分子の粗密度壓差により流動し、從つて、押へコンクリートを浮遊状態とし、安定せず、勾配の低きに向つて流動しズレを生じて居る、（アスファルト量の過多）

板下地の場合は特に、伸縮甚だしきため、下地板の乾燥收縮、吸濕膨張等のため、防水層が切斷されて居る。

以上舉に一二の例を示したるにすぎざるも教科書の引寫しとも謂ふべき、机上設計理論にこうでいる事なく實際に即したる、業者の意見をも参考して容れらるる事を切望す。盲言多謝

綜合請負業者よりの苦言

近頃官公廳の請負工事競争入札に際して落札最低限度を三分の二とされる向が多いが、此の程度の最低額では正規の工事施工は採算上困難であり、堅實業者の正常な競争意慾を阻害するのみならず、其の間を縫つて一部ダンピング業者の跳梁する處も有る故、適宜の方法にて極秘に決定せる適正價格（最近の實例として入札直前に當局

工事關係委員數名にて設計予算に基き適正價格を投票し其の平均値を採用せるところあり）に最も近きものを落札とされん事を望みます。

從つて入札、契約担当部課も事務系統で無く適正價格の検討等技術的考慮を必要とするため、技術系統の部、課に於て管掌さるべきと思ひます。

又入札指名業者の撰択に就いては、業者の工事施工能力現在施工中の工事量及工事成績等を充分御斟酌の上御指名願ひ、いやしくも不當な安値を以つてする常習のダンピング業者に對しては以後の指名を除外すべきと存じます。

尙工事契約の準繩となるべき設計圖及仕様書は、相互一致せる明確なるものを望みます。就中仕様書に就いては戦前、戦時中、戦後を通じ工事程度の激変を止むなくせられたるに拘はらず、旧態依然とした千遍一律式のものでは、施工に際し見解相異のため種々紛議を醸し、且つ此の間を狙うダンピング業者の温床となるものであります。特に共通仕様書の如きものは此の際全廃され、工事毎に必要なして充分なる仕様書の御起草をお願いします。且つ仕様書中、從來共々問題になる「不明の点は係員の指示に挨つ」及使用材料のメーカー指定等、業者側の片務的な契約及施工の形式を改め、官民相互の合議制にて圓滑に工事の完遂出來得る日の一日も早からん事を切望致します。

次に現下金融逼迫の折柄、工事金支拂は可及的速やかに御支拂下さる様、尙前渡金も官、公、民を通じ不文律として三〇%下附下されば幸甚です。見積りに際しても落札の如何に係はらず實費を御支辨願へないかと、少し虫の良い事も考へてゐます。

續いて一般建材業者に苦言を呈します。

近頃、資材の仕入れは殆んど前金になり支拂期日が重しいのは止むを得ないとしても、納品には粗惡なものが多いのはどうかと思ひます。今少し良心的なものを作られては如何でせうか。特にスレート類は甚だしい様です。最後に一般勞務者の能力低下の問題であります。戦時中の質より量が崇つて未だ其の風潮の抜け切らぬ處へ、腕前を誇つた昔風の職人氣質も日一日と薄らぎ、昔なれば「俺は〇〇の仕事をやつたんだ」と己れの技倆を自慢にしたところを今日では「〇〇の現場では幾ら儲けた」と凡てが金の世の中に成つたのも無理からぬ御時世として、今茲に聲を高めて叫びたい事は、從來の建制的封鎖制度に代はる民主的な技能者養成の國家機關を早急に設置すべきで、之に附隨して技能検定制度並優秀技能者褒賞制度等の施行と相俟ち、復興日本の原動力たる優秀熟練工の育成が機眉の急である事を、關係御當局に訴へて擲筆します。

妄言多謝

話 駄 無 事 工 管

子 哉 光 居 鳥 大

納涼にもなるまいが、堅くるしい先生方の、御説法の合間に、骨抜き無駄話と云つても、多寡の知れた管工事屋の、空想も與太も入つた埒も無い獨自言。平素の仕事柄、土を掘つては、鐵管を埋める、根からの椽の下の方持、他人様に迷惑が掛からぬ丈けが取柄で、先づ本當の水商賣、跡はさつぱりと、水に流して戴き度い。

扱て十年も以前の事だつた、迷宮に入つた、或る新妻殺しの犯人が用いた凶器が、鐵管であるらしい、と云ふので其の筋では我々業者を廻つて、無頼の職工のリストを作つて居た。どうして凶器が鐵管と推定されたか、それは被害者が人妻だから鐵管で、生娘なら鐵棒だろう、なんて云ふ洒落計りでも無かつたらしい。

昨年だつたか、某接收住宅の、ボイラー室の石炭投入口から、空巢が入り相當の被害を與へた。事が事丈けに、警察でも躍起になつて居た。然し侵入口が石炭投入口だ、と云ふだけで、その改修工事に關係した、配管工に目を着けたのは殺生（接收）で、もう少し慎重に、勘考（管工）して欲しかつた。

話は少し軟くなるが、或る晝休みに、オフィスの女事務員が、愛人である同僚と、ラヂエーターを供出したあと、そのまゝに放つてある配管の近くで、好い氣持でひそひそと話して居た。その頂度眞上の部屋で、部長さんうとうとして居ると何處からか、甘い話聲が聞えて來るので、不思議に思つて注意したら、下から續いて居るパイプの中を、傳つて來るのだつた。首剪り流行の折柄、諸君ゆめ物事に御油斷めさるな。やはり其處の地階に男女の、脱衣室が並んで居た。間の仕切壁の梁下には、以前給湯管が通つて居た鞘管が、ぽつかりと、大きな口を開けて居た。蒸し暑くなつてあられも無い姫御前が、肌抜きになつて汗を落す期節には、男室のロッカーの上は、何時も押すな押すな。無料でエロシヨウに出演して居るとは、神ならぬ身のなんとせう。

戦後慌たゞしく改裝した、〇〇住宅のトイレットに、間に合せの杉か松で製作したやにこい、シート（木製便蓋）が着いて居た。運悪く其の家の主婦に決つた貴婦人は、なんと二〇〇封度を遙に越へて居たが、いよいよ轉宅の日に初めて、その間に合せのトイレットを使用した處、とたんに一たまりも無くシートが割れた。落着いて立ち上があれば良かつたが、慌てて立ち上つたから堪らない割れ目に軟い臂肉が挟まつてしまつた。はるばる遠方から見えた方の、あたり雪の肌に、生れもつかぬ疵を着けさせた不居者は、尻無川へでも、投り込めば良いだらう。

新京極裏の、某スキヤキ屋の天井裏には、大きな水槽が据へてあつて、その側の明り窓からは、隣の三文劇場の樂屋風呂が、ものゝ一間位で。然かもこちらは眞暗だから、覗かれて居るなどとはつゆ知らぬビチビチしたワンサ連、随分大膽な眞似もするらしい。此處だけは何か知らぬが、修繕嫌いの職工でも、すぐ引受けて出て行くが工事の方は仲々渉らぬ。

話は多少尾籠に互つて恐れ入るが、デパート等で用を足される貴婦人方は、大抵は切羽詰るまで我慢されて居る故、其處へ飛込んでも、下許り見て、一向天井の方は見る餘裕が無いらしい。間仕切の上で、シスターンを修理中の職工さん、先方に氣の毒で小さな音さへ立てられず、さりとて下りる事も出來ず、いよいよ臭氣は上つて來る。

外國の古い映畫で、獨房の中の囚人が片隅の便器の、トラップの水を、手で汲み出して隣室と連絡をとる場面があつた。我が國の様に、一般住宅さへ仲々水洗化されぬ故、獨房など思いもやれぬ事だらうから、この點は反つて防牒になる。お望なら戀の掛け橋、傳聲管工事もお引受するが、先づ以て代金の外に、多少はおごつて頂かねば着手出來ない。

そう云へば私の會社で一昨年、或る米軍の留置場に、ラヂエーターを据付中、ドライバーで面格

子を外して、一黒人米兵が脱走した。重大犯人の上に、用器が悪かつた爲、工事中の社員職工共、全部に疑が掛つたが、あとで、捕つた犯人が取出した證據のドライバーが、立派なS・U・Aの新品だつたのでやつと助つた。處が矢張り最近東京支店でも、近くの某署の留置場の修理中、囚人が知らぬ間に、道具を盗み夜間それで、窓をこじ開けてすらかつてしまつた。二度ある事は三度と、注意は怠らぬが、兎に角年中油の絞られ通し、歩の悪い商賣である事よ。

大体職種柄、パイプを扱ふので、少しは向ふ先も見えるし、勘も良くなる筈なのに、政府支拂の遅延、徴税攻勢の熾烈、集金率の低下、金融の手詰り、と御難續きで、業者一同日向の金魚の様に口許りバクバク、目を白黒、政府は大量首切り、労組は大量ハnst、大衆は愈々首でも吊る外はない。我々業者は緊蹙一番、手持のエルボ、チーズを不斷に使用して、丈夫な首吊台でも作り、丸公の半額以下で提供し、厚生大臣賞でも貰おうか
(二四、六、一五)

京都建築クラブの發足

京都には建築關係の會として、日本建築協會京都支部、京都府建築協會、商工會議所内土木建築委員會京都府土木建築工業協會、京都土建協力會等があつて何れも内容を異にした協會の名が多いのでありますが京都府建築協會は昨年晩秋、都合に依つて解散致したものの、何かしら物足りない所があつて其の復活が話題となつて居りました所、愈々去る六月十六日 京都建築クラブ として發足する事となりました。會員の同士は官名もなければ業名もない丸裸で京都大學、工業校、各官廳の政職員、民間各種業者、其他同好の士の集りで、會則は？目的は？、等と六ヶ敷い事でなく、だ 相互の親睦を圖るの一語に盡きるのであつてこの和を以てすれば各自の向上發達を希ふ目的は達成し得るものと思ひます。

當日洛北相國寺本坊に於て發會式を挙げましたが、輕い折詰辨當で赤裸々な中にも和やかな雰囲気散會致しました。多數の御入會を希望致して居ります。

執筆 者 紹 介

松井清之助氏		本協會京都支部長、京都府建築部長
長澤忠郎氏		京都府土木部長
高橋正典氏		日本平和郷寶池公園建設協力會
村田治郎氏		京都大學教授、工學博士
藤原義一氏		京都工業專門學校教授、工學博士
安住義人氏		京都府立平安病院長、醫學博士
大鳥居光哉子氏		大鳥居工業社長

有馬温泉

の湯旅館
兵衛

電話 有馬三番

- 定評あるサービスと設備
- ホール、娛樂室完備

家のクリーニング

- ★古家屋が新築同様となる美素工事
- ★新築家屋にお手入のいらぬ美素工事 請負
- ★石・タイル洗淨工事

株式会社 美素工業所

大阪市東區瓦町(堺筋)三和ビル三階
電話 新町 5777 番

建築積算便覧(第3回)

4. コンクリート、ミキサ

ミキサの大きさ		切	4	7	8	10	12	14
1回ノ練上量		立坪	0.0185	0.023	0.028	0.032	0.046	0.055
1時間の練上量	最大	"		0.68	0.83	1.11	1.39	1.66
	最小	"		0.62	0.70	0.92	1.15	1.38
平均		ク	0.50	0.65	0.77	1.02	1.27	1.52
1日(8時間)の練上量	最大	"		5.5	6.6	8.9	11.1	13.3
	最小	"		5.0	5.6	7.4	9.2	11.0
	平均	"	4.00	5.2	6.15	8.16	10.2	12.2
人夫掛	最大	人		17	20	25	30	35
	最小	"		15	17	20	25	30
	平均	"		16	18.5	22.5	27.5	32.5
1分間ノ回轉數		回	19	19		16		16
原動機馬力數	電動機	H.P.	3	5		7½		10
	石油發動機	"	3	4		6		10
機械重量	蒸氣機關	"	3	4		5		8
	据置式	Kg		1700		2600		3300
移動式	移動式	"		2800		4000		5000
立坪當リ手間		人		3.08	2.93	2.95	2.65	2.71
機械損料		人分		0.6				
編成人員	材料計量運搬	8人		機械運轉	2人			
	コンクリート運搬	4人		世話役	1人			
	數均シ突固メ	4~5人						
	掃除雜役	1人						

(計 20~21人)

5. コンクリート・タワー材料表

名 称	寸 法 (mm)	長 サ	單位	數 量	單位	備 考
親 柱 ア ン グ ル	9×90×90	17.8	○	4	本	下 部
"	"	15.0	"	24	"	中間部
"	"	12.8	"	4	"	頂 部
柱 繼 ア ン グ ル	9×100×100	1.7	"	28	"	
下端部横チャンネル	8× 65×130	5.0	"	4	"	
上頂部横チャンネル	"	5.0	"	4	"	
横 ア ン グ ル	6× 65×65	5.0	"	92	"	
筋 違 "	6× 50×50	6.2	"	192	"	
ガゼット・プレート	6×190×330	—		200	枚	
ガイドレール・チャンネル	6× 50×100	17.8	○	2	本	下 部
"	"	15.0	"	12	"	中間部
"	"	12.8	"	2	"	頂 部
頂部メタル台チャンネル	8× 65×130	6.0	"	2	"	
頂 部 滑 車	経355φ シヤフト38mmメタル付			2	角	
下部台付枠I型溝車	355高 ボス38mm シヤフト付			1	組	

(註) 1. タワーの高サハ120尺とす。

6. セメント着色劑

色名	染料名	淡色ノ時	濃色ノ場合	色名	染料名	淡色ノ場合	濃色ノ場合
灰 黒	煙 煙	0.5	1.1	黄・黄	黄色酸化鉄	2.1	4.2
〃	過酸化マンガ	1.1	2.1	黄	エロー・オーカー	5.3	9.6
〃	酸化マグネシウム	1.1	2.1	赤	赤色酸化鉄	5.3	9.6
褐赤色	褐色酸化鉄	5.3	9.6	緑 藍	酸化クロミウム	5.3	9.6
				〃	青 酸 カ リ	5.3	9.6

(註) 数字ハ混和量%ヲ示ス。

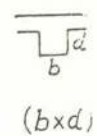
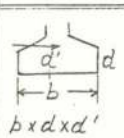
7. コンクリート枠型

名 称		単位	木 造 基 礎 面 坪	コ()クリト造平壁 面 坪	木造布地形 間
木 材	枚 材	石	0.20	0.20	不 定
〃	小割材・角材	〃	0.16	0.52	〃
釘		貫	0.15	0.20	
鉄 線	B. W. G. 14	Kg	—	0.35~0.4	
鋸		丁	—	~1.2~	
タンバツクル		箇	—	~1.2~	
大 工		人	0.2~0.3	0.4~0.5	0.05~0.1
人 夫		〃	0.2~0.3	0.3~0.4	0.03~0.1

労 力 割 増 率	□ 内 数 量 ニ 對 シ テ	名 称		パ ネ ル 版	荒 木 バ ラ 板
		独 立 基 礎 型 枠 組 立	鉄骨造基礎	× 1.16	× 1.54
			木 造 基 礎	× 0.97	× 1.26
		独立壁・柱の型枠組立(高16尺位)		× 1.34	× 1.74
		鉄筋コンクリート建物型枠平均		× 1.67	× 2.17
		撤 去		× 0.64	× 0.84
		其 ノ 他 (上表ニ對スル加算)	丸型異形ノモノ	× 1.40	
			コンクリート打放シ	× 1.20	
			カーテンウォール構造	× 1.30	
			作業高16尺以上ノモノ	× 1.30	

型 枠 木 材 量 割 増 率	名 称	平壁 コンクリート造建家) ニ對スル	木材石ノ枠面坪	
	壁・間仕切	× 1.00	0.72~1.20	
	基 礎	× 1.18	0.42~0.85	
	床	× 0.97	0.54~0.72	
	屋 根	× 1.04	~0.75~	
	柱	× 1.11	0.60~0.96	
	桁 梁	× 2.15	0.84~1.44	
	階 段	× 1.88	~1.35~	
	一 般	× 1.22	~0.88~	
		×		

8. 鉄筋コンクリート造建家コンクリート及型枠数量

名稱	寸 法	コンクリート (立坪)	型 枠 (面坪)	名稱	寸 法	コンクリート (立坪)	壁 坪 (面坪)
壁	厚サ 0.5尺 (15cm)	0.025	24.00	柱 (正方形)	一辺 45cm	0.034	16.16
	" 0.6 (18cm)	0.030	20.17		50	0.042	14.68
	" 0.66 (20)	0.034	18.11		55	0.051	13.08
	" 0.73 (22)	0.037	17.44		60	0.060	12.00
	" 0.8 (24)	0.040	15.19		平 均		17.02
	平 均		18.98	梁	 30×45 cm	0.023	16.00
床	厚サ 15cm	0.025	12.00		35×50	0.030	14.00
	" 18	0.030	10.19		40×60	0.040	12.00
	" 20	0.034	9.06		45×67	0.051	10.80
	" 22	0.037	8.77		平 均		13.20
	" 24	0.040	7.60	基 礎	 120×20×30	0.073	4.20
版	平 均		9.52		150×27×35	0.132	3.80
	一辺 30cm	0.015	24.24		200×30×40	0.267	2.80
	35	0.021	20.74		平 均		3.60
	40	0.027	18.22		総 平 均		13.00

(註) 1. コンクリートニ於テハ、型及床版ハ、單基m2當リノコンクリート立坪ヲ示ス。

柱及梁ハ、單位m當リノコンクリート立坪ヲ示ス。

基礎ニ、1基ニツキ、コンクリート立坪ヲ示ス。

2. 型枠ニ於テハ、コンクリート1立坪ニ付キ、型枠面坪ヲ示ス。

3. 基礎ニ於ケル dIハ、平均厚ヲ示ス。單位ハcm示ス。

9. 鉄骨・鉄筋コンクリート材料の大略數量 (建物延坪當リ)

建物用途	コンクリート (立坪)	型 枠 (面坪)	鋼 材 (ton)	鉄骨ノミ (ton)	コンクリート立坪當リ 型 枠 面 坪
旅館・クラブ ・記念館ノ類	0.438	5.10	0.307	—	11.6
	0.425	5.08	0.721	0.596	11.2
銀 行	0.550		0.370	—	
事 務 所	0.421	5.05	0.374	—	12.0
	0.404	4.85	0.748	0.466	12.0
倉 庫	0.410	4.81	0.356	—	11.8
	0.455	5.49	0.642	0.389	12.0
役 所	0.391	4.70	0.342	—	12.0
	0.437	5.25	0.549	0.238	11.6
ビルデング 商 店	0.425		0.315	—	
學 校	0.380	4.56	0.321	—	12.0
	0.479	5.75	0.844	0.502	12.0
工 場	0.360		0.180	—	
病 院	0.359	4.30	0.287	—	12.0
	0.402	4.82	0.623		12.0
平 均	0.415	4.750	0.318		11.8
	0.434	5.27	0.688	0.3~0.5	11.6

(註) 1. 型枠ハ建家面坪ニ對シテ、4.3~5.7面坪ナリ。

2. " コンクリート1立坪ニ對シテ、11.2~12.0面坪ナリ。

3. 型枠ノ損料ハ使用回数ニ依ルモ大略30~50%トス。

4. 表中上欄ハ鉄筋コンクリート造、下欄ハ、鉄骨鉄筋コンクリート造ヲ示スモノトス。

10. 各種一般基礎作業量

		コンクリート (平家)	〃(二階)	煉瓦(平家)	〃(二階)	布石	布石	煉瓦寄石		
名	形状 寸法									
稱	單位	一間當リ	間當リ	間當リ	間當リ	間當リ	間當リ	1ヶ所當リ		
除土	立坪	0.033	0.080	0.044	0.048	0.084	0.091	0.084	0.027	0.025
栗石地形	〃	0.004	0.0075	0.0045	0.0067	0.0067	0.010	0.018	0.0084	0.004
コンクリート工事	〃	0.017	0.034	0.0034	0.0056	0.0051	0.0084	0.014	—	0.0028
同型枠	面坪	0.500	0.573	—	—	—	—	0.12	—	0.07
天端モルタル	〃	0.067	0.100	0.06	0.125	0.06	0.125	0.10	—	0.03
片側モルタル塗	〃	0.180	0.167	0.16	0.16	0.16	0.16	—	—	—
煉瓦(舊型)枕	枚	—	—	48	56	64	128	—	—	—
石材切	切	—	—	—	—	—	—	2.9	1.8	0.34

(註) 煉瓦基礎は於テ左欄ハ0.5枚積、右欄ハ1.0枚積ノ場合ヲ示ス。

11. セメント及石灰 材料換算表

セ メ ン ト (50kg入)						消 石 灰 (20kg入)					
袋	kg	m3	切	斗	立	袋	kg	m3	切	斗	立
1	50.00	0.033	1.185	1.815	33.00	1	20.00	0.0285	1.02	1.56	28.10
0.020	1	0.0007	0.024	0.037	0.700	0.05	1	0.00143	0.0514	0.079	1.42
30.00	15.00	1	35.94	55.00	10.00	35.0	700	1	35.94	55.00	1000
0.845	42.00	0.028	1	1.530	28.00	0.98	19.60	0.028	1	1.530	28.00
0.551	28.50	0.019	0.655	1	18.00	0.665	13.3	0.019	0.655	1	18.00
0.031	0.158	0.001	0.037	0.055	1	0.035	0.700	0.001	0.037	0.055	1

(註) 1. 消石灰ハ 1立=700gトシテ計算セルモ、現在市場ノ石灰ハ不純物多ク1立=約1000gアルモノアリ。

12. 土木工事のコンクリート打 (1立坪=付キ)

名 称	摘 要	單 位	練 方		ガード、トロリー搬 運 平均 30 間	搗 固 メ		
			手 練	機械練		無 筋	鉄筋入	
土 工	コンクリート熟練工	人	5.9	2.4	0.75	0.4	0.6	
労力の増減率	水中コンクリート	×	1.10	施工ノ難易、設備ノ如何ニヨリ			×	1.30
	湧水多量ノ時	×	1.50					

13. 同 型 枠 工 (1面坪當り)

名 称	單 位	製 作	組 立	撤 去	其 他=手元人夫ヲ要ス。
大 工	人	0.20	0.34	0.13	
労力の増減率					
	丸型異形ノモノ	×	1.40		
	繰返シノキカマ單独形ノモノニシテ構造複雑ナモノ	×	1.30		
	同一構造又ハ構造簡易ナモノ	×	0.80		
	其 ノ 他	×	1.20		

會 務 (七月分)

理 事 會 九日於 朝日ビル、大林副會長外六名

1. 大阪府建築代理業審査委員推薦の件並に建設業法審議委員別項の通選した
 2. 大阪日々新聞主催、主婦の生活二十四時間展住居部門協賛出展を可決住宅委員会に一任した
 3. これからの住宅展開催の件
市内大丸百貨店とタイアップして全店で開催可決住宅委員会に実行方を一任した
 4. ユネスコ国際圖書交換調査要提出方申請あり編集委員会に一任した
 5. 會員證別表通入會25名退會66名承認した
- 諸報告 六月分會計報告、廿三年度會計檢査報告、日本事務所記録、土地法令全集購の件、日本建材協會資料集覽発行の件、日本セメント技術會コンクリート講習會の件、建築士會建築サロン懸賞募集の件、建築學會研究報告書受ケの件、役員會、各委員會經過報告等次の通議事報告を了した。

常任理事會

二日一時三十分天神橋分室で主記、主計編集代表會開。催諸般事項協議した。

主 記 會

四日分室開催、理事會提案其他を協議した。

編 集 會

二日 朝日ビル開會、次號以下協議

連 合 部 會

十三日正午より朝日ビル事務所開催
綜合部門 竹中工務店片岡常務、大林組、高槻建築課長、錢高組日高資材課長、技術部門大阪建築事務所池田所長外、日建産業建築部柳工務課長、石原建偉建築事務所所長、建材部門瓦、タイル、ルーフィング、防水工事、建築金物、スレート等代表者約十名
理事青木友一、大和常務理事挨拶及司會の下に開催三者交互に有益な意見交換あり二時散時した

主婦の生活二十四時間展

大阪日々社主催本會住居の部協賛出展の本展覽會は本月五日より實行委員度々會合本月二十三日から十日間阪急百貨店七階で目下開催中であり、但本會が主催でないため委員のプラン通りに実施されてゐない事を遺憾としてゐる。

住宅委員會

五日一時三十分、市内堂島大橋南詰に建築中の佐々木式プロツク構造施工を見學した
元吉委員長外委員九名同社杉田常務の説明と實際を檢分後朝日ビル事務所で見學座談會を開いた。次に阪急主婦の生活展並大丸に於ける本會主催これからの住宅展実行方を理事會から委嘱されたので協議の結果大項意見交換後取敢ず主婦の生活展につき小委員に一任する事とし中野、小林、福屋三氏を囑し之からの大丸展

は十二日大丸で開催大項意見を協議実行委員に中野、小林、塚本三氏を囑し大和常務理事と共に着々進行に移つた。其後廿六日迄に屢々小委員會會議を練り本月中に大体を纏める事とした。

大阪會勢委員會

七月は納涼の見學會開催予定の所見學先の都合で変更別項次の通りビル移轉見學と規則の説明會を催し盛會であつた。八月はビル會社を予定してゐるが出來ない時は一月休止する。

兵庫支部

六月號會誌の編集に好成績を収めたが本月は別項の通千代田銀行ビル移轉見學など有益な催しをした、當二十三日午後四時から工業組合事務所役員會開催、松浦、桑田両副支部長外出席、本部から竹腰會長、大和常務理事列席今後の事業や會勢發展を協議した。

資料要覽委員會

二十八日朝日ビルで開催、尾崎委員長、藪中主幹外出席予算計画中の内容につき再検討

請負規程委員會

二十九日朝日ビルで開催、東京より回附の四會連合案再検討を加へた。

鐵 筋 コ ン ク リ ー ト 建 物 移 動 工 事 見 學 會

七月二十三日兵庫支部幹旋の下に本部會勢委員會と合同で首題見學した。當日は炎暑にも拘不定刻一時半に神戸市湊川新開地千代田銀行竹中工務店現場に額の汗をふきつつ三々伍々集合した者約130名受付でパンフレットを貰ひ同店特設の小屋に暫し待合せたが出席予定の竹腰會長選參のため大和理事が代つて開催挨拶展覽會其他本會最近の催につき披露と協力依頼を述べ竹中工務店神戸支店現場主任、日野設計部長を紹介、日野氏は千代田銀行支店移轉に関する諸計画と今日迄の移動經過と今日現在第一移動を終り第二移動に移る方向轉換の準備中である事、及其行程に於ける貴重な學理と物理と實際につき圖示と共に約二十分間に亘り懇切な説明をされた。次に各自質問あり日野、辻両氏より丁寧に回答された。次に竹腰會長はビルの移轉工事は最近各方面から注目され一般に関心が深い時兵庫支部で此見學を計畫されたのは近來のヒットであり一面斯も多數參加された會員に感謝すると共に見學の結果裨益する所が多いであろうと參加會員に挨拶あり兵庫支部幹事、竹中工務店各位には工事を急いでおられる中で特に吾々のため此の便宜を與へられた事に對し深甚な感謝の意を表する旨の挨拶があつた後三班に別れ現場を見學、現場にとても熱心な質問と應答があり三時半頃有意義な見學を終つた。當日は現場の都合で100名を限りに切つたが現場では約130名となつた切後の申込者にお断りした事を深く御詫びする

臨時建築制限規則附規準 及建築代理業條例説明會

七月廿五日午後二時から清水建設大阪支店講堂で開催
此日日本三大祭の一である天満天神渡御の日で堂島河
畔幾十萬の人の流れ街は天神さんで大方は半休、暑氣
又甚しきにも不拘約120余名の聴講あり盛會であつた
錢高會勢委員長開會挨拶後講師稗田府指導課長紹介、
同課長は今次全面改正の概要を概説次に同課副技師は
規則第二十七條迄逐條解説續いて暫定規則二十六條を
解説した後十余人より約二十分に亘り質疑應答後次に
稗田課長より大阪府建築代理業條例概要を説明され、
更に全面的の質問應答が續けられたがやがて五時近く
なつたので大和理事閉會の挨拶を述べ両講師に拍手を
以て謝意を表し解散した。當日會場を拜借した清水建
設支店では折柄半休の所を遅く迄多數御邪魔し且何か
と御世話と御厄介おかけした事を紙上を通じ厚く御禮
申上げる

井上副會長御令聞の計

予而東京本邸で長く病氣御静養中の井上副會長御夫人
は人力の限りを盡された看護のかきもなく遂に六月廿
九日御逝去され誠に痛惜の極みであり、茲に謹而哀悼
の意を表し御冥福をお祈する次第である。

九州支部便り

今般支部總會で支部長、副支部長が下の如く改選され
た支部長宮脇晴美氏副支部長黒木源次郎氏岩崎甚太郎
氏從來松田前副支部長が一切の事務や會務を主として
取扱れてゐたが同氏五月より東京で病氣のため入院さ
れてゐたが近く歸福新役員と連絡後同支部では他幹事
や事務所等にも新機軸と新陣容で今後の活動を期して
ゐる様子である。

圖書閱覽と事務室の利用に就て

圖書閱覽

戦時中その開の圖書整理が出来朝日ビル事務室に配列し
ました

事務室利用

朝日ビル事務室は圖書閱覽、會議を主として編集の一
部が使用してありますが會務に差支ない時は會員各位の
會合に便宜を計ります。以上御利用下さい。

但 御利用の時は前以て事務局へ連絡願ふ事

日本建築協會

後記

六月は兵庫支部に集收願つて兵庫特輯號
とも言ふ方針をとつたところ多方面から
案外な好評を得た。本號も亦京都支部にその集收を願ひ
紙面の構成まで委員の方にお任せした。たゞ一部紙面の
都合によつて割愛したことをお詫び申上げ多大の御盡力
に對しここに改めて感謝申上る。

次は中國支部に以後九州支部、東海支部と夫々年何回
かこうした地方特輯方針をとり、會誌を通じて會員間の
深い連りをもちたいものである。

吾々新委員會によつて號を重ねること四回、ようやく
會員諸氏の會誌に對しての批評も辛辣である。曰く…讀
れる會誌に…見る雜誌に…紙面をざんしんに…も
つと學術的に…會員に愛される様に…寫真本位に…
…もつともな御希望である。こうした問題は實に永
年にわたつてくり返されてゐることである。吾々はこの
會員諸氏の忠告を参考にどこまでも「建築と社會」本来
の目的に向つて進む方針である。問題の解決は近い、そ
れは會員諸氏のより以上の協力である。切に願ひする
次第である。

尙本號より毎月二十五日發行を一日發行に切り替えた
これも一つの飛躍である(委員)

營業種目

銅製サツシユ・ドア・シャッター
オペレーター・伸縮戸・面浴子・建築金物一式
製作及修理工事

日本サツシユ株式會社

旧名 日本サツシユ合資會社大阪出張所

大阪市東區高麗橋二丁目九番地
電話土佐堀④2995・3879

神戸營業所 神戸市葺合區琴緒町三丁目八番地
電話元町④5445

建築と社會

第30輯 第8號

賣價1部金40圓(送料共)

昭和24年7月25日印刷・昭和24年8月1日発行

編集發行人 戸川 弘

發行所 社團法人 日本建築協會

大阪市北區中ノ島3ノ3朝日ビル

電話 { 土佐堀 ④1836・3631番

北 濱 ②1334・9番

振替口座大阪39975番

大阪市東區北濱三丁目七

印刷人 井上 聖

大阪市東區北濱三丁目七

印刷所 兒島印刷株式會社

會 告

こ れ か ら の 住 宅 展 覧 會 開 催

期 間	八月九日—十四日、六日間
會 場	市 内 心 齋 橋 大 丸 百 貨 店 四 階
展 示	第一 部 これからの住宅 第二 部 都 市 構 成 第三 部 住 宅 建 築 手 引 第四 部 新 設 計 圖 案 第五 部 十五坪モデルハウス庭園共

模型製品及建築資材約三十社出品予定

建築文化講座

期 日	八月十二日(金)二時三十分 これからの住宅 講師 京大教授工博 西山卯三氏 八月十三日(土)午前十時 住宅の新傾向に就て 講師 大谷女専 小林 清氏
會 場	大丸四階展示會場隣室 以上御互の知己御誘合せ御來場を待つ

主催 社團法人 日 本 建 築 協 會

本會機關誌 「建築と社會」 バックナンバー

第廿貳輯	昭和14年	第1, 2, 6, 8號	各1冊
第廿參輯	昭和15年	第2, 8號	各1冊 第3號 3冊 第4號 4冊 第6, 7, 10號 各1冊
第廿四輯	昭和16年	第3及12號	各1冊 第8號 4冊 第9號 5冊
第廿五輯	昭和17年	第2, 4, 6, 8號	各1冊 第11號 2冊
第廿六輯	昭和18年	第2號 5冊 第3號 4冊 第4號 2冊 第6號 5冊 第7號 4冊 第8號 2冊	
第廿七輯	昭和19年	第1號	1冊
第廿八輯	昭和22年	第1, 2 合併號 第3, 4, 5 合併號 第6, 7, 8 合併號	多數在庫
第廿九輯	昭和23年	第1號 (7月発行)	多數在庫
第參拾輯		第2號より第6號迄	多數在庫

上記掲載バックナンバーは前號に掲載出来なかつた分の追加であり、上記に掲載なき分は賣切絶版です。尚發行年度により價格の高低もありますので、御希望の方は本會事務所へ御申込み下さい。大体價格は四、五拾圓前後です。但し部数に限りあり先着順の事

相 互 幹 旋

◎土地家屋譲りたし

- 1、大阪市西區江戶堀南通五丁目十番地ノ一 角地河に面す、約 232坪
- 2、京都市左京區松ヶ崎西町一四番地 前高工跡突當り隣裏、公園豫定地で目下施設中 敷地52坪、平家建15坪 三室台所、風呂、井戸、水道設備、昭和十七年建築入念仕上。
- 3 京都市電嶋原口西北約一丁、敷地約100坪、延建坪約45坪、外一棟二階建、和洋大小十室
- 4、神戸市生田區花隈町161ノ1 モダン茶苑、木造瓦葺 外部モルタル塗、中二階建店舗附延31坪、敷地 48坪

◎求 婚

- 1 女子、初婚二十四才。再婚死別三十三才子供なし 共に身体健全、容姿普通以上、身元確實者あり。特に幹旋願いたし。
- 2 建築家の婿を求む 京都市内在住、父は傳統の建築施工者にて現在營業中、身元確實。以上御連絡は本會事務局長へ御申越の事

本欄を充分御利用願います。

社團法人 日 本 建 築 協 會

●第三〇集 第八号 掲載広告一覽（掲載順）

浅沼組
錢高組
大林組
竹中工務店
鹿島建設
戸田組
鴻池組
間組
清水建設
真柄組
ミラノ工務店
後藤建築事務所
京都府電気工事工業協同組合
池上建築事務所
日東工務店
飯田組
東海電気土木
大阪城口研究所
大阪電気商会
大阪暖房商会
桐田商会
斎藤久孝

西原衛生工業所
三晃商会
建材社
保坂工業所
東建商会
大和工業
榎山工業
鼎直一商店
関城化学工業所
内外アスベスト
日本断熱工業
報国工業
明正社
日本セメント防水剤製造所
大阪パッキング製造所
鈴木工務所
三高製作所
満点製作所
中川ラス製作所
オリエンタルメタル製造
日建鋼業
田満庄次郎商店

ライトラバー鋼業
内外土木建材社
村田硝子店
辰己吉商店
山源商店
木下謹三商店
興亜建材工業所
三幸商会
ナニワ瓦
芦屋左官工業所
兵庫県瓦工事
天王寺木工
黒島竹材
浪花工房
大阪耐酸工業所
板倉鉄工所
神野工業所
大鳥居工業所
須賀工業
協立工業所
明和管工業
昭和鉛工業
高山工業所
勝山看板店

川本塗装店
日本セメント工業
仲徳製作所
範多商会
西岡商会
松田商会
日本管工業
京都水道工業
林田工業所
山京水道工務所
京都美術看板広告
小山塗装店
利倉幸商店
石井建材窯業所
神治屋本店
大仏組
西彦製瓦
藤田商店
横山源三郎
昭和建材工業
浅井商店
藤田商店
若由陶業
小木曾タイル店

ちかなかタイル問屋

都築タイル店

平田タイル

日本スレート

福知山セメント製品工業

福屋工業所

タテバヤシ商店

濱岡惣兵衛商店

檜垣源一商店

松尾敬二商店

日引商店

山内灰孝本店

大洋商会

渡辺弥藏商店

西村久夫商店

吉沢豊三郎商店

岡田商店

カナエ建材

中村金三商店

上原成介商店

近江屋商店

大中商会

若由商店

興和建材工業